青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 10月 3日

121 農業機械

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Farm Machinery (日本語) 農業機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56年 8月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Culture, Youth and Sports
(日本語): 文化青年スポーツ省

ロ. 隊員勤務先名称: National Youth Training Center 日本語名称 (国家青少年訓練センター)
所在地: Duaun Tua, Selangor 主要都市からの距離 (K.Lより 20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1966年創設 職員数 350人 生徒 1000〜2000人
62エーカーの敷地を有し、初中等教育を終了した者を対象に 職業訓練を施す。
コースの種類: 農業, 自動車整備, 建築木工, 電気, 溶接, 商業。

ニ. 設備概要: 農業科: 2輪トラクター (耕うん機) …16台 4輪トラクター …13台
大型トラクター 3台 脱穀機, 精米機, 溶接機 等々
(この他に 55年4月 Jolly 社の大型, 小型トラクター (FIAT) 各1台 クボタ耕うん機 2台)

(2) 隊員の業務内容:

1. 業務上の地位: 国訓練センター農業科配属 農業機械保守指導要員。
2. 技術の範囲: 下記各種機械の修理, 保守ができること。
   a. 重機 (ブルドーザー, グレイダー, 掘さく機)
   b. 4輪トラクター (Fiat 540, 640, 750, Ford 3000, Ley land 270, Massey Furgerson, David Brown, Nuffield)
   c. 2輪トラクター (クボタ耕うん機)
   d. 脱穀機, 精米機 (主にヤンマー), ヤンマーディーゼル溶接機, ポンプ
3. 対象者、カウンターパート
   生徒 … 中卒者 18〜20才
   指導員 … 農業訓練所卒 25〜30才 日本研修経験者を含む。
   技術水準は低く, オーバーホールスは複雑な故障の修理は無理。
4. 使用する言語: マレー語
5. 携行する機械: 作業服, 安全靴等の身回り品程度, 他に必要の場合は着任後に調達する。
6. 訓練期間: コースによって異なる。農業機械コースは 6ヶ月間。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

経験ある指導員が不足し, 技術の停滞が目立つ。新しい技術の導入及び後継者養成に隊員の貢献が期待されている。
山田隊員 (54年8月〜) の要請

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上 実務経験 5年以上
ガソリン及びディーゼルエンジンの経験を有する。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

121 農業機械　　調査者氏名　表　伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 121 農業機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Agriculture (Extension & Management)

(日本語): 農林省 農業普及 管理局

ロ. 隊員勤務先名称: Daunatpur Agriculture Extension　日本語名称 (ドウラトプール農業普及員養成所)

所在地: Training Institute クルナ管区ドウラトプール　主要都市からの距離 (クルナより 10 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業普及員を養成する政府機関。敷地総面積は120エーカーで実習農場80エーカー. 校長以下教官10人 生徒現在120人, 世銀援助による校舎等建設中.

ニ. 設備概要: 事務所, 教室, 寄宿舎, 職員住宅, ワークショップ等の他に農場用として, トラクター, 耕耘機, 深井ポンプ, 農具等がある。

(2) 隊員の業務内容: 農業改良普及員養成機関で, 農学I 農学II 作物保護, 農業機械, 農業普及, 園芸, 畜産の7教程の授業を行なっているが, その中で隊員は農業機械を担当し, 実習を中心とした指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 教官

2) 技術の範囲: 農業機械の理論と実習および管理と改良について日本の農業高校で指導可能な程度の知識と技術。

3) 業務の形態: 実習の技術指導の他, 機械の維持・修理。授業を持って講義することもある。

4) 対象者およびカウンターパート: 生徒は10学年卒。入学時18~20才であるが農業機械の知識皆無。カウンターパートは直接的には教官だが, 実際面に弱い。むしろ修理となればメカニッションの方が応用力もある。

5) 現地で利用できる機材: 上記設備の他にマイクロバス

6) 職場における第3国人等: 勤務先に協力隊稲作および野菜隊員

7) 使用する言語: 生徒および農民とは全てベンガル語, 校長, 教官とは英語も必要。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ドウラトプールAETIは協力隊当初の昭和48年8月以来継続して派遣され, 農業機械隊員として4代目となる。農業局長は, 机上の仕事をするのではなく, 実際に動く普及員育成に日本青年が寄与してくれることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 12 日

121 農業機械

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 121 農業機械	(男) 3 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Integrated Rural Development Programme, (IRDP)
(日本語): 総合農村開発計画局

ロ. 隊員勤務先名称: Thana Workshop-cum-Training Centre 日本語名称 ( )
所在地: ゴピントゴンジ, ドウラトプール, ラフシャミプール 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1977年よりの企画で, 農業機械の修理, 農具生産及び農村青年の訓練を目的として6か所のワークショップが78年完成した。

ニ. 設備概要: 各ワークショップは機械加工用旋盤, 鋳造, 鍛造, 溶接, 木工の各作業場を備え, 足踏脱穀機等の生産に入っている。

(2) 隊員の業務内容: 6か所のワークショップはどうにか隊員の協力もあって完成したものの まだ運営が軌道に乗ったとはいい難い。ひとつには民間との競合もあって, より私人が集まらないため (財政のため低賃金), 修理も民間の方が早く安いといった状態である。生産も足踏脱穀機, 除草機, 乾燥機, クワ, カマ等試作中であるがマーケットが今一歩であることや, 工場長等の管理運営能力意欲の欠除がある。1か所5千万円近くもかけた工場でもあり, IRDP側は今欠点となっている部分を早く隊員が赴任して指導してくれることを望んでいる。

1) 業務上の地位: ダッカよりの出向の形となり工場長と同等.
2) 業務形態. 工場とダッカ間の往復が多いが, 6か所全部に隊員が入れば一工場をみることになる.
3) 機材: 上記設備
4) 技術の範囲 農業機械もさることながら, 機械加工, 溶接等の知識があればなお可. 改良, 工夫等に興味あること.
5) 対象者. 各工場の私人
6) 先方国人等 なし
7) 言語 ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 工場が開設されたが順調ではないことから, 一日も早い隊員の赴任を希望している。76年の準備以来, 機材入れ, 納入まで4人の隊員が係わっていた。現在1人で2人が56年2・4月に赴任予定

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
短大卒以上, 機械の応用, 工夫が好きな人.

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 4 月 22 日

121 農業機械

調査者氏名 深津和歳(Sri)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) mechanic (日本語) 農業機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 54 年 12 月 派遣予定 55 年 4 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): General Organization for Cattle

(日本語): 酪農公団

ロ. 隊員勤務先名称: Jurin Station　日本語名称 (ジュリン 牧場)

所在地: Jurin Hama　主要都市からの距離 (Hamaより110キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 乳牛約600頭 付帯の飼料作物育成圃場約400ha 及びその運営管理に要する諸機械・機材を有する。

ニ. 設備概要: 機械部門に限定すると特定のガレージ・ワークショップを有しないが今后建設の見込み。工具の保有状況は日常整備に差支えはないものの十分とは云えない。

(2) 隊員の業務内容:

業務内容はトラクターを含む(酪農関係)圃場用機械、ミルクプラント、2基の発電機を中心とするステーション内電気系統ならびに各種車輌の保守管理。

① 現場に於ける事実上の業務推進者。

② ミルキング、圃場作業に大幅な支障を来さない程度に諸機械を保守修理管理しうる技術。牧場にはスエーデン製のアルファーラベル、西独製のウエストファリアのミルクプラントが入っている。

③ 職長と協議の上メカニシャンと協同ないし単独で業務に当る。
就業時間は原則として 8:00～15:00 であるが緊急時にあっては夜間・早朝・休日(金曜祝祭日)の就業もある。

④ 中卒 20～45才で、事に当っては一応何らかの形で処理する能力があるものの科学的思考法に欠けるきらいがある。

⑤ 一部部品を除き大型機械工具に至るまで大半は入手可能。

⑥ 機械部門に於ては無し。

⑦ アラビア語(シリア方言)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

隊員の存在が何らかの形でプラスに作用し得るという認識に基き、隊員派遣の継続及び拡充への牧場側の期待が感じられる。(牧場側の)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

特記すべき条件は無いが下記の三点を満足するならば業務遂行上(本人にとって)有益と思われる。

① 職場での社会的地位をまずもって確立するには肩書に於て大卒が~~[illegible]~~。

② 業務内容を考慮すれば自動車整備士2、3級のレベルが必要とされる場合もあるので有資格者のばあいは有利である。③ 大規模酪農経営の一貫機械作業体系において一年程度の経験は有益と考えられる。

(4年制大学卒)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 22 日

121 農業機械

調査者氏名 石川満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Agricultural Machinery (日本語) 農業機械	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education
(日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology 日本語名称 (ジョモケニヤッタ農工大学)
所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約48億円)及び技術協力によって新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学、食品加工)、工学部3学科(機械工学、土木建築、電気)、学生数720名、教・職員120名

ニ. 設備概要: 建物、内部設備、教材、機材共規模を同じくする我国の大学と同じ水準のものを完備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員(工学部 機械工学科 農業機械学担当)

② 主として農業機械の動力部門を担当
内燃機関(主にディゼル)の理論と修理
大小トラクター 揚水ポンプ等を含む動力付の農業機械の理論と修理

③ ケニア人・日本人専門家と全く同様に大学の一教員として専門科目を担当

④ 学生は K.C.E 以上(11年以上)、年令 18才以上
(Kenya certificate of Education 小学校7年 中学校4年卒業)

⑤ 本邦より購送した機材(約11億円)を使用出来る

⑥ ケニア人教職員 80名、日本人専門家 22名

⑦ 英語(講義を全て英語で行うので特に英語に堪能である事が望しい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は第4次経済開発5ヶ年計画で国造りに必要な中堅技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処するため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。
本学はその頂点にあって今後のケニアでの技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(大学卒以上)

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械　　記入 昭和 51年 10月 20日

調査者氏名 小佐 孝之

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Agro-Mechanization (日本語) 農業機械教師	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 52年 4 月 派遣予定 52年 8 月 受入期限 52年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Manpower Development Div. Min. of Agriculture
(日本語): 農業省人材開発局

ロ. 隊員勤務先名称: Min. of Agriculture Training Institute 日本語名称 (農業専門学校)
所在地: Mlingano (Tanga) 主要都市からの距離 (タンガより 40キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Agro-Mechanization, Farm Management の2学科を有するDiploma課程(2年制)農業技術者の学校。専門普及員の養成機関である。本年6月開校。生徒数 両学科共1学年当り40名。教師数 15名。

ニ. 設備概要: 教室, 寮, 職員室, workshop等の建物は完備されているが教材, 図書, workshop設備は除々に供給されているもの不完全。

(2) 隊員の業務内容: Agro-Mechanization学科の主要教科である Farm power, Farm-Machinery, workshop technology の各教科を分担して教える。農業機械化, 電化に関する全ての分野にわたりその理論と応用を教えるが, 実技教育に重点を置いている。 別紙シラバス参照

①教科担当教師として派遣される。
②現場の普及活動に即対応出来る人材の養成に主眼を置いている為 Diploma課程といえども専門にかたよらず内容は総花的です。自動車の構造及び整備技術も重要な項目です。教師が不足しているところから担当教科以外にも例えば制図, 測量, 数学といった教科の指導を依頼される可能性は大きい。
③担当教科の指導(実習を含む)を単独で行なう。
④カウンターパートは期待出来ない。教科担当は全て大学卒で占められている。生徒は小学校7年, Secondary School 4年, 農業のCertificate課程2年を修了した者, Sec. School 6年の修了者又は Sec. School, 農業のCertificate課程修了後, 国家機関や国営農場に勤務し, 職場の推薦により入学した者等区々である。年令20~25才。
⑤近い将来, 充実することは確実ですが調査時点では, トラクター程度。
⑥インド人専門家(Agro-Mechanization学科主任)1名のみ。将来増える見込み。
⑦英語, 教室での授業は全て英語です。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農業省は各ウジャマー村, 国営農場に専任の普及員を配置すべく意欲的な教育計画を策定し, 目下実施の段階に入っております。Diploma課程はこの目的にそって高等専門普及員の養成を目的としております。協力隊に対しては, このたび教育訓練の分野での要請をしておりますが, これは過去の農業隊員の実績を評価した上での協力要請であり, これに応えることは, 協力活動を行なう上, 重要な意義を有するものと確信します。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
①大学卒業者 (農業機械を専攻した者) ②英語 ③実務経験(数年あればなお良い) 実務経験が要件ではない ④現地到着時の年令 25才以上
農業機械を教室で講義出来る程度の語学力(英語)と農業機械に関する広い範囲の理論的知識が要求されます。

121-7

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和55年4月15日

調査者氏名 平川 潔

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Agric. Machinary (日本語) 農業機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56年4月 派遣予定 56年8月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Mechanization & Transport Dept Min of Agric

(日本語): 農業省、機械化 運輸局

ロ. 隊員勤務先名称: 機械化推進部　　日本語名称 (　　)

所在地: アクラ　　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

約100台近いルーマニア製の農業用ブルドーザー、
4台のコンバイン(ルーマニア)

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

アクラ中央ワークショップでルーマニア製のコンバイン、
ハーベスターの操作、指導、保守整備にあたる
時に応じて現場への出張もある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験1年位。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 10日

121 農業機械

調査者氏名 後藤俊男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Rice-Mill Engineer (日本語) 精米機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55年 10月 派遣予定 56年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): NASIA RICE CO. LTD

(日本語): ナシア ライス 会社

ロ. 隊員勤務先名称: TAMALE　　日本語名称 (タマレ)

所在地: Northern Region　　主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

世銀、アフリカ開発銀行、ガーナ政府、及び米生産者組合等の共同出資による米生産会社 (農場→販売)

ニ. 設備概要: 直営農場、民間との共同農場、栽培委託農場等約1000ヘクタールの稲作農場(大部分は陸稲)があり、タマレ市に一括した精米工場がある

(2) 隊員の業務内容:

① 精米機械設備(日本、佐竹製作所製)の操作管理、保守、整備を行う。

② 1979年度に新設された精米工場に設置された、日本製(佐竹製作所)の精米機械設備は、当初JICA専門家によって操作、運転されていたが、専門家は1979年度引揚げて、以後、ガーナ人技師に委ねられたが、操作、保守、整備に未だ支障がある。

③ 稲作指導の協力隊員が1979年度より種苗生産及び、普及指導を行っている

④

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ガーナ最大の米生産会社で、将来は近隣西アフリカ諸国へも輸出を予定しており、協力隊員に大きな期待を抱いている。
当方に対しては最大限の便宜供与を与えてその活動を支援すべく受入体制を整えている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 機械整備、保守に精通し、特に精米機械の操作管理に経験ある事

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 7 月 10 日

121 農業機械

調査者氏名 大峯 保広

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	現地公用語) MECANIZACION AGRICOLA 日本語) 農業機械	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 80年 2月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTERIO de AGRICULTURA y GANADERIA

(日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称: DIRECCION de INVESTIGACIONES AGRICOLAS 日本語名称 (農業調査局)

所在地: TILARAN 主要都市からの距離 (ハンホセより 200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農牧省次管が直接に指揮する大型プロジェクトで多目的ダムの建設により水没した農家をダム湖周辺に移動させ農業の定着化をはかる.

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 隊員の任務は同プロジェクトのうち、特に野菜栽培関係の農家が資金の貸し付けにより購入した小型農業機械の操作・指導及び修理にあたる.

① 隊員の業務上の地位 : 農業機械の操作、修理指導

② 技術の範囲 : 山岳地における蔬菜園芸用機械(特にアメリカ製がない)に精通していること

③ 業務の型態 ④ 未定

⑤ 現地で利用できる機材 : 農家が政府の貸し付けで購入している段階である.

⑥ 現地における第3国人の有無 : 現在いない.

⑦ 使用言語 : スペイン語

3) 受入希望の背景と受入国の期待:

プロジェクトの現場が山岳地にあるため アメリカ製の大型農機が使用できないための、ハンドトラクター程度の導入を考えており 特に野菜栽培(トマト、キャベツ、レタス、ピーマン等)用機具の操作、修理の向上をはかる.

4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

・大卒 農業機械に十分に慣れていること

・年令 25~26才以上

機械はアメリカ製がタタレ.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

121 農業機械

記入 昭和55年 9月 8日

調査者氏名 表 孝 [illegible]

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) INTERNA MOTORES DE COMBUSTIÓN (日本語) 内燃機関 (主にディーゼルエンジン)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 or 10 月 受入期限 ~~年~~ 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLÁNTICO 日本語名称 ( )

所在地: トゥリアルバ 主要都市からの距離 (サンホセより67キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース20名~40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 分校としてはまずまずの校舎 図書館等をもっている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 講師 (INGENIERO)

② 技術の範囲: 高校 (COLEGIO) を卒業した程度の者に 2年間 内燃機関 (ディーゼルエンジンに重点を置きながら) 講義する。但し 2次的にディーゼルエンジンについて講師陣に指導することも期待されている。

③ 業務の形態: 教室型 — 実習あり

④ カウンタ・パート: 大卒の講師 (INGENIERO)

⑤ 現地にある機材: 大まかではあるが 実験用器具は揃っている。

⑥ 第三国人: いない。

⑦ 使用する言葉: スペイン語

(詳細は別送資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来 教育機関のほとんどがサンホセの位置する中央盆地に集中していたが、地方に教育の機会を与え 地域開発に貢献すべく同大学(トゥリアルバ)[redacted]がその一環として設立されたが 教育スタッフ不足に直[redacted]面している。ディーゼルエンジンについては最近の石油高騰で非常に興味[redacted](がもたれ)研究を急いでる分野である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 4年生の大学卒業者

② ディーゼル・エンジンの設計、管理、製作の経験を有することが望ましい (講師指導のため)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和55 年4 月 日

121 農業機械

調査者氏名 在パラグアイ国 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) MAQUINALIAS AGRICOLAS (日本語) 農業機械	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55 年 10 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG)

(日本語): 農牧省

ロ. 隊員勤務先名称: Instituto Agronómico Nacional (IAN) 日本語名称 (国立中央農業試験場)

所在地: Caacupé, Cordillera 主要都市からの距離 (首都より 52 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

IANは農牧省試験普及局に属し各種農産品(小麦,トウモロコシ,大豆,棉花,果物,野菜etc.)の育種,試験栽培etc.を実施しておりこれら試験結果に基づき優良品種の奨励,農民への普及業務を行なっている.

ニ. 設備概要: 中央試験場でもあり,スタッフ数,設備状況etcかなり整備されている. 同一敷地内にスイスの協力を得て運営されている2年制の農業機械学校(Escuela Agromecánica)が設置されている

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 修理技術者(Tecnico)

② 技術の範囲 - IANの試験栽培用農地で使用されている農業機械(トラクター60~100馬力,コンバインetc)の修理,整備,保守業務に従事する. 導入機種は,マッシーファーガソン,ジョンディール,ホルボなどが主. 又,IANが行なう"短期講習会"に参加する研修生に対し農機具の整備,保守操作を指導する.

③ 業務の形態 - 試験場の機械修理etcが当面の業務となるが,技術者養成を目的として農牧省所管の今上"Escuela Agromecánica"とも密接な関係をもっていることからいづれ,何かしらの関連が出てくることも考えられ得るし,又状況によっては農牧本省の要請で各地の農業校巡回etc.依頼されることも予想されるので勤務先を極端に固定化しない姿勢が必要と思われる.

④ 対象者及技術水準 - カウンターパートはなし,技術レベルは極めて低い.

⑤ 利用できる機材 - 修理工具等は一通り揃っている. 但し,隊員用として修理工具一式(インチ,ミリ双方)他基本的なものの携行が必要.

⑥ 才3国人等の配置 - 農業機械学校にスイスの専門家若干名

⑦ 使用する言語 - スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当国の農法は大規模農法であり多くの農業機械が導入されているにもかゝわらず,技術者養成が系統だって行われておらず,極端な技術者不足を来たしているのが実情である. かゝる状況を幾分でも緩和すべく又将来の技術者養成へとつなげるべく,我が方の協力を要請して来たものであり,期待される所大なるものがある.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒 実務経験2~3年 農機具の操作も出来ること.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 9 月 14 日

131 家畜飼育

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (A.I.) (日本語) 家畜飼育(人工授精)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Animal Industry (BAI)

(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: National Artificial Breeding Center (NABC) (日本語名称) (国立人工授精所)

所在地: Alabang, Muntinlupa, Metro Manila. 主要都市からの距離 (マニラより 20 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 畜産局傘下により輸入凍結精液(液体窒素を含む)の地方発送、国内製凍結精液の製造及びその発送、現地の人工授精師への研修等を実施している。今年度予算規模 125ペソ(360万円)、正職員16名、臨時職員2名。

ニ. 設備概要: 約80haの土地に雄牛牛舎(採精用)、雌牛牛舎(約20頭の雌牛を人工授精研修用)、80m²程の横長方体サイロ(一方開き型)1基、ハビア、ローカロコン植栽地、研究室、事務所。

(2) 隊員の業務内容: 現在精液採取用雄牛はミューラー種水牛2頭、ホルスタイン1頭、レッドブラーマン1頭、ホルスタインとブラーマン(不良精液)2頭、ミューラー種若雄水牛(現在訓練中)3頭いる。週3回の頻度で行なう凍結精液[redacted]造りのスタッフとして①NABC(主に水牛から)、②畜産局と契約している個人牧場アンサーファーム(肉用牛)、③フィリピン唯一の乳用牛牧場マグリリアファームでの凍結精液製造に携わる。又、将来日本式ストロー式の凍結精液に移行する予定であるので、その研究、普及、必要機材の調達の任務を負う。この他に年に3回~4回1カ月間の期間で実施されている現地人工授[redacted]精師に対する研修の教官としての任務もある。

① 隊員の業務上の地位: 技術指導員。

② 技術の範囲: アンプル式、ストロー式凍結精液製造に関する技術。人工授精教官として早期妊娠鑑定から分娩までの鑑定技術。

③ 業務の形態: 凍結精液製造においては他の職員と一緒に仕事しながら、自からは一歩リードしていること。しかしリードし教える形態をとりながら、相手に教えられているという印象を与えてはいけない。

④ 対象者Bのカウンターパート: 大卒者で人工授精フィールド歴3年以上、外国研修(6カ月)の経験あり。年約40才

⑤ 現地で利用できる機材: 精液低温処理装置(AHK、ストロー用、4窓式)、液体窒素タンク。その他人工授精用器具、ゴム手袋、ポリ手袋等あり。

⑥ 職場における第3国人等: なし。⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 斉藤博隊員(ミニコン隊員、家畜人工授精)の交替要請。徐々に発展しつつある人工授精プログラムの保護に寄与することが期待されている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

①大卒者で実務経験3年以上。②人工授精フィールド歴1年以上。

3. 可能であれば獣医師がよい。又、凍結精液製造に携わった経験のある人で赴任時年令30才以上。

4. 英語力もレポート提出が頻繁にあるので かなりの力が要求される。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 9 月 15 日

131 家畜飼育

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育(養豚)	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 55 年 8 月 受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Aklan Agricultural College (A.A.C)

(日本語): アクラン農科大学

ロ. 隊員勤務先名称: 仝上　　日本語名称 (仝上)

所在地: Banga, Aklan　　主要都市からの距離 (カリボより 8 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農業・畜産・農業工学コース及び修士課程(初等農業教育)を持つ大学部と併設の4年制農業高校; 並びに2年制農業技術科がある。
学生総数約1,600名, 教員総数約70名。農地約60ha(実習地を含む。)

ニ. 設備概要: 長屋式牛舎一棟, 若干の放牧地, 化学実験室等あるにはあるが, 日本の高校や大学にみられるような研究室といった施設はない。1980年にはState Collegeに昇格予定。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: プロジェクトのインチャージ(大学教官)と同格

② 技術の範囲: 豚の生産, 肥育, 自給飼料の開発, 養豚に関する講義及び実習指導

③ 業務の形態: 畜産部門の養豚場が主な活動の場となるが, 地域内農家への養豚経営(自給飼料を中心とした。)の普及及び養豚に関する科目の担当(講義ー実習)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 高校生, 大学生を中心に講義ー実習を行うと共に地域内農家[redacted](養豚に対する知識は低い)が対象となる。

⑤ 現地で利用出来る機材: 注射器すらない実状である。

⑥ 職場に於ける第3国人及び日米専門家の配置状況: 現在米国平和部隊2名が活動しているが, 畜産部門には関係していない。

⑦ 使用する言葉: 大学での業務に関しては「英語」を使用するが, 当地のダイアレクト「アクラノン」を使用する機会が圧倒的に多く, 特に普及活動を行う場合アクラノンが主となる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 遠藤賢司隊員(52年前, 家畜飼育)の交替要請。
先任隊員は主に肉用牛のプロジェクトを担当してきたが, 本年10月からは養豚普及(大学で生産した素豚を農家へ貸与する方式を取る予定。)プロジェクトの諸準備にも取組む予定である。とりあえずは素豚の生産等大学側の基盤整備を行ない。　域内農家の経済向上を目指した自給飼料主体の養豚を農業経営の中に定着させて行くことである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
(農学部畜産学科卒)で養豚, 養鶏に2年位の実務経験のあることが望ましい。
豚の去勢, 診療, 治療の経験があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 4日

131 家畜飼育

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン 共和国	(現地公用語) ANIMAL HUSBANDRY(A.I) (日本語) 家畜飼育(家畜人工授精)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
		(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称(現地公用語): BUREAU OF ANIMAL INDUSTRY (B.A.I.)

(日本語): 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: B.A.I REGIONAL OFFICE or PROVINCIAL OFFICE 日本語名称 (畜産局リージョナル or プロビンシャルオフィス)

所在地: NAGA or SORSOGON, ALBAY 主要都市からの距離(マニラより キロ)

ナガ 450 km
ソルソゴン・アルバイ 600 km前後

ハ. 事業規模及び内容:

家畜人工授精(A.I)促進プログラムのもとで現地人工授精師が任務遂行にあたっているが、技術不足、人員不足、精液保存、運搬、管理などの問題で計画は思うようにはかどっていない。

ニ. 設備概要:

凍結精液輸送タンク、カセター等が主なるDAIRY or BREEDING STATIONにそなわっているが十分には活用されていない。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 畜産局付家畜人工授精師

② 技術の範囲: カラバオ・レッドシンディ・ブラーマン及びホルスタイン・ブラウンスイス等乳牛の人工授精、妊娠鑑定、疾病の治療、伝染病の予防、その他飼育管理技術の普及

③ 業務の形態: 現地のテクニシャン、獣医と共に農場及村落をまわり、家畜人工授精の普及、妊娠鑑定などを通して家畜繁殖、改良につとめる。州内のA.Iテクニシャン等を集めて人工授精の研修会を開く。豚については90%以上農家もA.Iにたよっているが、牛については、まだその良さに気がついていない農家も少なくないので牛、主に乳牛を中心にA.Iによってこの土地に適した牛の改良、指導が中心となる。現在はマニラのNABCよりアンプルの凍結精液を使用しており、各種の問題に関してもN.A.B.Cとのパイプ役となる事が望ましい。

④ 対象者、カウンターパート等: カウンターパートはいない。A.Iセンターのテクニシャン、その他農民等の技術向上に務める。

⑤ 現地で利用できる機材: 人工授精器具、LN_2タンク、デルモスジャー

⑥ 外国人等: 職場にはいないが林業関係にAMERICA平和部隊1名

⑦ 使用する言語: 英語、タガログ、ビコール

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 交替要員、赤堀峰晴隊員の交替。

日本の家畜人工授精技術者によるロ国での家畜人工授精、家畜衛生、管理技術の普及人工授精師の質的向上などサイドからのサポートが望まれている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校卒業以上で(家畜人工授精師)の資格を保有しており、(実務経験が最低1年)以上必要で、到着時の年令は25歳以上が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56年 8 月 1 日

131 家畜飼育

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Animal Husbandry (日本語) 家畜飼育（乳用牛、肉用牛）	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称（現地公用語）：Mambusao Agricultural & Technical College (MATEC)

（日本語）： マンブサオ農科大学

ロ. 隊員勤務先名称：Mambusao Agricultural & Technical College 日本語名称（ 同上 ）

所在地： Mambusao, Capiz 州　　主要都市からの距離（州都より 50キロ）

ハ. 事業規模及び内容： 農業科、農業教育科、家政科を有する4年制農科大学で、ほかに2年制林業コースと4年制高校が付属している。又農業高校の分校を2つ有している。学生総数は約1600人で教員約70名である。

ニ. 設備概要：一般教室の他、ごく簡単な図書館、農業気象観測施設及び育苗施設、水田、豚舎、鶏舎、野菜圃場のほか、広大な原野、乳用牛、肉用牛、緬山羊の放牧地などがある。

(2) 隊員の業務内容： 現在牧場(ranch)にはアメリカンブラーマン、レッドシンディ、サンタガトルーディス、ミューラーバッファローなどが約50頭と、ホルスタイン7頭、緬山羊約20頭がいるが、学校のモデルファームとしての正常な運営、管理がなされていない。初代隊員は現在、酪農プロジェクト（ホルスタイン、山羊）を進めているが搾乳は行なっていない。交替隊員の主な業務は畜産コースの学生に対する授業、実習指導を中心に、このプロジェクトの引き継ぎとranchの改良、整備にあたる。

1) 隊員の業務上の地位： 畜産インストラクター 兼 ranch in-charge（管理）

2) 技術の範囲： 乳牛、肥育牛の飼養管理、草地改良、乾草、飼料作物栽培のほか、獣医的知識と技術も要求される（獣医師がいない）。

3) 業務の形態： 上記の通り

4) カウンターパート等の技術水準：カウンターパートとなる教官は、酪農、男 37才、肥育牛、男、23才

5) 現地で利用できる機材： トラクター、トラック、ジープなどが使えるが、故障が多い。去勢器、注射器、簡単な診察、実験器具など。

6) 日米専門隊及び第3国人の配置： 専門家なし、但し米国平和部隊隊員2人（畜産、園芸）及び協力隊員が2名（森林経営、野菜）いる。

7) 使用する言語： 一般的にはビサヤの一方言、学校では英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待： 交替要請（小倉健一郎隊員 54/2）

乳製品の9割近くを輸入に頼っている比国にとって酪農の普及は重要なプログラムの1つであるが、人材を送り出す役割の当大学のファームでさえ有効に運営されていないのが現状である。学校側は隊員の積極的な活動を望んではいるが、技術の移転というよりは、人材不足のカバーといった面が強い。

(4) 隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

1) 学歴： 大学卒業（農学部畜産科（獣医科でもよい））

2) 取得資格： 自動二輪免許、家畜人工授精師（あればよい）

3) 実務経験： 業務内容の2)に記した技術の範囲をカバーできる広い知識と経験を積んでいる人であればよい。特に英語の堪能な人が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

131 家畜飼育　　調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウィ	(現地公用語) (日本語) 家畜飼育	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Mikolongwe Veterinary Station 日本語名称 ( )
所在地: ミコロンゲ　主要都市からの距離 (87より20キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 面積 1,425 エーカ (分場を含めて 8,283 エーカ)。マラウィでの家畜改良を目的とした最大規模の農場。Livestock, poultry Training college を有し それぞれ独立した形で存立。

ニ. 設備概要: (Livestock) 搾乳室: 30頭収用可 (手搾り). 15牛小屋, mixing room 放牧地 1,000 エーカー. 乾期用家畜収用施設. dipping tank

(2) 隊員の業務内容:

。業務上の地位: Dairy Section の Technical officer の地位

。業務内容: ① 乳牛管理一般 (dipping, 予防接種, 搾乳管理, 乳量記録, 飼養管理)
② 仔牛, 種雄牛, 若令牛の管理 (dipping, 予防接種, 飼養管理, 個体の記録)
③ 人工授精 (種付け, 発情のチェック, 台帳管理)
④ その他 (牧場管理に関する種々の仕事)

又, 現在 Training College の施設拡充, コース増設が計画されており, 現隊員もこの9月より畜産の講義を要請されているが, 未だ始まっていないが, 交替隊員は講義も受け持つこととなる。

勤務時間: 朝 4 時 ~ 午後 4 時半 (朝食・昼食に一時間ずつの休け い)

。カウンターパート: Training College 卒業, 22才以上 (人工授精できる者あり)

。使用言語: 英語, チェワ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

大池雄二隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学畜産学科卒

2. 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

13105 養　蜂

記入 昭和 55 年 9 月 8 日

調査者氏名 麦 孝 雄 (麦孝)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) APICULTURA (日本語) 養蜂	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 or 10 月 受入期限 ~~年~~ 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLÁNTICO 日本語名称 ( )

所在地: トゥリアルバ 主要都市からの距離 サンホセより67キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース 20名～40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 分校としてはまずまずの校舎 図書館等をもっている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 講師 (INGENIERO)

② 技術の範囲: 高校 (COLEGIO) を卒業した程度の者に 2年間のコースで養蜂[redacted]について講義する他 蜂の管理 女王蜂の飼養についての研究が望まれている。農家への巡回指導も行なう。

③ 業務の形態: 教室型 — 実習あり

④ カウンターパート: 大卒の講師 (INGENIERO)

⑤ 現地にある機材: 大まかではあるが実験用器具は揃っている。

⑥ 第三国人: いない。

⑦ 使用する言葉: スペイン語

(詳細は別途資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来教育機関のほとんどが、サンホセの位置する中央高地に集中していたが、地方に教育の機会を与え 地域開発に貢献すべく同大学(トゥリアルバ)がその一環として設立されたが教育スタッフ不足に直面している。養蜂はかなり遅れており 同大学においても養蜂の講師は一名のみ。養蜂を農家の収入源の一つにすることと 99% 輸入に頼っているコスタリカの現状に鑑み赤字減しの一環と[redacted]つある。すべく力を入れ

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと)

① 4年制の大学卒業者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 日

13105 養 蜂

調査者氏名 在パラグアイ国 海外駐在員 望月

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) APICULTURA	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 養蜂	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministerio de Agricultura y Ganadería (MAG)

イ. 配属先名称 (現地公用語): Servicio de Extención Agrícola y Ganadera (SEAG)

(日本語): 農牧省 農牧普及公団

ロ. 隊員勤務先名称: Agencia de Caacupé 日本語名称 (カークーペ普及事務所)

所在地: Caacupé , Cordillera 主要都市からの距離 (首都より 54 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農牧普及公団が統轄する全国約58ヶ所の普及事務所の中でもカークーペ普及事務所はコルディエラ県に於ける中央連絡所的機能を果たしており 5人の普及員を中心に管内農家に対し一般農業指導 生活改良普及洋裁指導等の業務を実施している。

ニ. 設備概要: 普及指導を主要業務とする性格上 機材等は皆無 唯一隊員携行分のみ
基本的設備は一応整っているが 建物が古く 水が十分ないのが欠点である。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 − 普及指導員

② 技術の範囲 − 野生蜂の取り方 管理方法 採蜜 女王蜂の改良 ロイヤルゼリー採集までを一貫して初心者に指導するほか 既養蜂家に対しては各種問題点の相談役を担う。

③ 業務の形態 − コルディエラ県に於ける小規模養蜂農家を巡回指導し 上記「技術の範囲」を指導すると共に シーズンオフには養蜂に関する簡単なパンフレットを作成したり 又民間ラジオ放送を通じ 蜜蜂の生態に関するブリーフィングを行なうことも期待されている。
その他 養蜂振興を目的とした短期講習会に於いて参加者への実地指導にも従事するなど幅広い活動が要求される。

④ 対象者及技術水準 − 一般養蜂農家 (年令はまちまち) を対象 既養蜂家はある程度の知識 経験を有する。

⑤ 利用できる機材 − 業務遂行上 国立アスンシオン大学農学部養蜂学研究室と密接な連繋を維持することが必要であり 巣箱作成 蜜源調査 花粉 蜂蜜分析等に関する一切の機材は同研究室のものを活用可能。

⑥ 第3国人等の配置 − 今上養蜂学研究室に対する専門家派遣が約10年間続き本年をもってプロジェクト打切りの予定 (現在専門家2名)

⑦ 使用する言語 − スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ここ数年当国の養蜂に対する関心及認識は非常な高まりを見せており養蜂を志す人々が増加する傾向にある。これは蜂蜜の単価が上昇しつつあること 特に一部地域では土地条件が非常に悪く 他の農業では生計維持が困難であるのに対し養蜂業では立派に自立し得る結果が次第に出始めていること等によるものであるが "小農家の生活向上" を政策に掲げる農牧省として 更に養蜂の普及を図るべく 今回要請越したものである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は特に問わないが 荒いアフリカナイズされた野生蜂を管理し得るだけの実務経験が必要とされる。
又国立大学養蜂学研究室の器具 器材を利用する観点から 実験及び実験器具に対する基本的知識を有すればなお良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 3 月 31 日

132 養　　鶏

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Poultry (日本語) 養鶏 — B.D	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年2月(又は4)迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Western Luzon Agricultural College (WLAC)

(日本語): 西部ルソン州立農業大学

ロ. 隊員勤務先名称: 同上　　日本語名称 (　　)

所在地: San Marcelino, Zambales　　主要都市からの距離 マニラ オロンガポより 154 32 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 268ha の敷地を有した (キャンパス部 20ha) 高等部生徒数 1038 名, 短大部 117 名, 大学部 237 名, 教員数 50 名, 職員 30 名から成る上に国の州立農業大学の一つである。昨年度の学校[redacted]予算は総額 110万ペソである。

ニ. 設備概要: poultry 部門のみだけ記すとブロイラー用鶏舎1棟, 産卵用鶏舎1棟, 卵孵卵用建物1棟, ひな鶏用建物1棟, 大型電熱 Incubator 1機 (同時に3000コの卵が処理できる)

(2) 隊員の業務内容: 養鶏のプロジェクトは 0.6ha の敷地に上記4棟の他に飼料用としてソルガム, パラグラスが栽培されている。現在保有している鶏はブロイラー用が 900羽, 産卵用が 460羽である。これらのブロイラー鶏, 卵は学校内部の消費に使用されており, いずれ生産を増やして地域社会にも供給する計画である。

① 隊員の業務上の地位: インストラクター兼アドバイザー。

② 技術の範囲: ブロイラー用鶏の飼育, ビレイヤー用鶏の飼育管理, 卵孵卵技術, 飼料配合, 病理等 養鶏技(管理)術全般に亘る。

③ 業務の形態: 養鶏学の講義, 実習をカウンターパートと共に受け持つ。養鶏の研究, 実験を行なう。必要に応じて地域社会の農民のために当校においてデモンストレーション的経営管理を行なう。副次的にブロイラー用鶏と卵の増産を計る。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年令: カウンターパートは当校のインストラクターで 24才。農業大学 BSAE コースを卒業し, 当校での経験は1年。専攻は家畜飼育であり養鶏にはあまり精通していない。Mr. David A. LUBONG。生徒は養鶏専攻という形をとらないで生徒が全て[redacted]ある一定期間必修しなければならない。いずれにしてもカレッジコースの生徒である。

⑤ 現地で利用できる機材: 上記設備の項の他はインキュベイター トレイ 35のみ。

⑥ 第3国人等: なし。　⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請。

当校及び当地域における養鶏の振興が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大卒者　2. 養鶏の経験が最低2年あることが望ましい。

3. 英語力を有すること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 10月 18日

132 養　鶏

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Animal Husbandry (Poultry) (日本語) 養鶏	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council (NYSC)
(日本語): 国家青年奉仕評議会

ロ. 隊員勤務先名称: NYSC's Batangala Training Center 日本語名称 (バタンガラ トレーニングセンター)
所在地: Batangala, Panawala 主要都市からの距離 (コロンボより 58キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1979年度の予算総額は2000万ルピー(約2億8000万円)。国内全域を7つのリージョンに分け、それぞれにリージョナルオフィスを有するほか、全国に7か所(新設中2か所を含む)のトレーニングセンターを有し、各地でまに out-of-school の青年達を対象として、村落における リーダーシップ教育、自立のための教育訓練を施している。

ニ. 設備概要: トレーニングセンターの建物、圃場、宿舎、鶏舎等

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: インストラクターであるが、トレーニングセンターの長といえる District Youth Service Officer とほぼ同格の扱いとなる。
2. 技術の範囲: 現在センターでは リーダーシップトレーニングの一環として養鶏講座をもっており、鶏舎を使ってブロイラー養鶏を行なっているが、これらセンター内での養鶏管理と、理論面の講義ができること。ブロイラーのみでなく採卵養鶏についても知識を有すること。
3. 業務の形態: 当面は訓練所内での指導(実習を含む)が主となるが、将来は、センターをベースとした外部への普及活動が含まれる可能性がある。
4. 対象者およびカウンターパート: 直接の対象となるのは国内各地から集まった農家出身の生徒(年令15~29才)であるが、カウンターパートとして特定できる人物はいない。
5. 現地で利用できる材料: 現在の養鶏場で使われている簡単な器具類、現地製給餌器、給水器等。
6. 職場における外国人等: バングラデシュから2名、インドネシアから1名のUNVが配属されているが、55年12月には任期を終えて帰国する。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 7. 使用する言語: シンハリ語(但し訓練語等は英語)

当国では特に農村部に多い out-of-school の青年に対する育成指導に力が入れられており、NYSC がこの活動の中心になっているが、各トレーニングセンターでそれぞれの専門分野で技術的にすぐれた人材がいないことから、今回の隊員要請につながったもので、農村青年にとって、より効果的なトレーニングが行なわれるようになることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上なら可。但し高卒の場合の実務経験は5年以上。
大卒で2~3年の実務経験が望ましい。学歴より経験重視
単車免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

132 養　　鶏

ザンビア

記入 昭和 55 年 8 月 19 日

調査者氏名　奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Poultry Officer	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 養鶏	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 (8or10) 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先　Ministry of Agriculture and Water Development

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Agriculture

(日本語): 農業及び水資源開発省、農業局

ロ. 隊員勤務先名称: Masaiti Farm Institute　日本語名称 (マサイティ農場/研修所)

所在地: P.O. Box 49, Luanska　主要都市からの距離 (ルアンシャより 25 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本研修所は1966年設立され、農業従事者、あるいは政府役人を対象とした種々のコースが実施されており、コース参加者は各州から自薦、他薦により集合し、各コースの期間を寝食を共にしながら研修することとなっている。

ニ. 設備概要: コース用教室、スタッフの事務所、家政実習室、寮(48年)、さらに各コースの実習用に Crop, Beef Cattle Poultry Unit, Horticultural Garden, Piggery 等の施設を容している。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: Poultry Officer の地位。他に Poultry Farming Officer 及び Poultry Lecturer がいる。

② 技術の範囲: 研修用としてある Poultry Unit の管理、監督、さらに毎年3~4回開講される National Poultry Courses における講義を担当することが業務内容となる。教授内容には、鶏の生理、栄養、病気、管理、鶏舎、育成、ダ鶏、ウサギ、アヒル、ホロホロ鳥、七面鳥なども含まれてくるため、一般的に広い知識があることが望まれるが、授業は上記3人の職員によって分担されるので、少なくとも何か得意な分野を2~3もっていれば問題ない。

③ 業務の形態: Poultry Unit の管理、監督。養鶏コースにおける講義を担当する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: Poultry Farming Officer 及び Poultry Lecturer の2名がおり、一応の技術、知識を有している。

⑤ 現地で利用できる機材: 孵卵器(150卵位入卵できるパラフィン利用のもの1機)。他の2機はサーモスタット故障で使用不可。鶏舎2棟、ローカルチキン用1棟、教室、管理室、倉庫1棟。その他の舎。

⑥ 職場に於る第3国人: 無し

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビアでは、いかなる部落でも鶏が放し飼いされており、それほどポピュラーな動物であるが、それを商業ベースに乗せるとなると種々の問題がある。チパタでは、孵化場が完成し、隊員が運営監督を行い、その周辺の農家を巡回し飼育指導を行っているが、マサイティ農場研修所が当国での唯一の養鶏を含む研修所であったため、隊員の派遣が急務であった。現在空川隊員が活躍しており、その後任ということとなる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒(畜産学科)。養鶏試験場等において孵化、育雛、飼育養管理及び衛生等の技術経験を有し(3年以上)、講義等教授経験のある者。

(車運転免許)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 15日

133 飼料作物

調査者氏名 平川潔

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ガーナ	(現地公用語) Pastry Specialist (日本語) 牧草栽培	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Veterinary Dept. Min of Agric

(日本語): 農業省 言局局

ロ. 隊員勤務先名称: 言局局　　日本語名称 (　　)

所在地: ACCRA　　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

不明。

(2) 隊員の業務内容:

○農業省直轄の 羊、山羊 (肉用) 農場の牧草栽培と通じて 民間 牧場への 普及指導を行う。

○牧草の成分分析 及び 牧草による生育上の変化調査と 適性な牧草の開発が 期待されている。

○ひとばとな ガーナ国内各地への 出張業務が予想される

○使用言語は 英語 可能 但し 普及指導では 現地語の 基礎を 学ぶ要あり。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒、経験2年以上、体力頑健な事。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

133 飼料作物

記入昭和 54年 11月 22日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) CULTIVO DE FORRAJES Y COMBINACION DE ALIMENTOS (日本語) 飼料作物	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 1980 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO DE FORMACION PROFESIONAL DE JUTICALPA - CHOLUTECA

(日本語): フティカルパ・チョルテカ職業技術センター

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO DE FORMAC. PROF. (JUT.-CHOL.) 日本語名称 (フティカルパ・チョルテカ技術センター)

所在地: JUTICALPA (OLANCHO) CHOLUTECA (CHOL.) 主要都市からの距離 (首都より200キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成(技術・技能者養成)を目的として設立され今年より本格的な活動が開始された。テグシガルパ、サンペドロスーラに職業技術訓練センター、フティカルパ、チョルテカに農業技術訓練センターを有する。

ニ. 設備概要: テグシガルパにINFOP本部があり農業は東部Jutica lpa、南部Choluteca の2つのセンターにて教育指導が行われる。設備は国内企業からの拠出金、国連、ヨドイツの援助により約8割は整備している

(2) 隊員の業務内容:

隊員は上記2カ所の農業技術訓練センターを中心に農家の子弟(15才~18才の青年)及び農民に対し飼料作物の講座(理論、実習)を行なうもので必要に応じて農家への巡回指導、地方講習会も実施する。東部、南部地区は国内で特に牧畜が盛んであるが、農家には子弟を農業高校で学ばせるだけの経済力はない。経験による農業には限界があり地場産業育成のための技術者養成が政府の最大の課題となっている。INFOPは一般民衆のための技術教育機関で、中心になっている青年部門は小学校卒業者が入学資格試験を受けられるシステムになっている。(1クラス15人、3年制)

① 隊員の業務上の地位 農業技術訓練センター教師、農業改良普及員

② 技術の範囲、指導対象者が農民とその子弟(小学校卒の学歴)であるところから高度な技術は必要としないが農業全般の基礎知識が必要となる。家畜は牛が中心で豚、馬、山羊も多く見られる。牧草地の有効利用、肥料、加工、病虫害等についても理解、指導が可能なこと。
また教科書の作成、調査、実験も課せられ、授業計画も現地に合わせ立案する。

③ 業務の形態 訓練センターの時間割 午前7:00~午後3:00(青年部門) 午後6:00~8:30(農民再教育)

④ 対象者 農民とその子弟。カウンターパートには同僚の教師が予定されており現地側教員の育成も要請されている。

⑤ 現地で利用できる機材、指導に必要な農機具は8割程度整っているが教科書、マニュアル類が少ない。1981年より本格的に業務が開始できるよう着任後、隊員自身が調査、準備する必要がある。

⑥ 専門家 外3国人の配置 なし。 ⑦ 使用言語 スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラスは農業を基幹産業とし人口の3分の2が農業に従事、牧畜は全農業生産の15%を占める重要産業であり、農民の技術向上による品質、生産量への期待は大きい。隊員の地道な努力の積み重ねによる協力が最も望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学農学部にて飼料作物を専攻、修得したもので農業全般の基礎知識を有するもの。
農家の子弟であればなおよい。実務経験2~3年 農業改良普及員免許

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 54 年 10 月 日

135 獣 医 師

調査者氏名 松尾邦義・鉄木治夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師	(男) 5 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 55 年 8~10月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture and Agrarian Reform
(日本語): 農業農地改革省

ロ. 隊員勤務先名称: Animal Health Division, State 日本語名称 (国営牧場 獣医部)
所在地: Dairy Station 主要都市からの距離 (首都より 0~500 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1976~80年の5カ年計画では国内の適地50カ所に牧場を開設し、各牧場では平均1000頭の乳牛(フリージェン、オルスタイン)を多頭飼育し牛乳・バター・チーズを生産することをめざしている。

ニ. 設備概要: 現在8つの国営牧場(うち6カ所に隊員を派遣してきている)があるが平均1000頭の乳牛を飼育、ミルキングマシーン[redacted]の機械、機器はかなり整っている。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 獣医師

② 技術の範囲: 乳牛の診療、妊娠鑑定など臨床獣医としての力量が問われる。幹部クラスにはヨーロッパ留学経験者もかなり居り、ときには処置・診断等について彼らを説得しなければならないこともある。

③ 業務の形態: 牧場の獣医の一員としてローテーションに組み入れられ、獣医部長の指揮[redacted]下でルーティン業務にたづさわる。家畜飼育隊員とペアを組む場合もある。

④ 対象者、カウンターパートの技術水準、学歴、年令: 獣医部の若手獣医とともに働らくことが多いが、彼らは[redacted]技術の移転を(隊員から)受ける、いわゆるカウンターパートではない。シリアの「国産の」獣医師はアレッポ大学の獣医学科卒業生で、ヨーロッパでの研修機会もしばしばあるようである。

⑤ 現地で利用できる機材: たいていのものはある。

⑥ 職場での第3国人または日本人専門家: なし。ただしこれらの牧場の元締めである酪農公団には滞在10余年の折田JICA専門家がアドバイザーとして勤務している。

⑦ 使用する言語: 英語およびアラビア語(口語=[redacted]シリア方言)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 牧場あたり乳量の増加という具体的達成目標はあるが、そのための人材がまだまだ少ないこと、(2)-⑥で記述したとおり酪農公団本部にきわめて影響力の強い日本人専門家が勤務していること、そして最近ではここ2~3年派遣されてきたJOCV隊員への高い評価が要請の背景となっている。家畜飼育隊員とペアを組み牧場の運営を積極的に改善することが含まれている、といえよう。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○獣医師免許。でき得れば乳牛に関する実務経験1カ年以上。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

135 獣 医 師

調査者氏名 江畑義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) VETERINARY (日本語) 獣医	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ANIMAL PRODUCTION LIVESTOCK DEVELOPMENT DIVISION

(日本語): 天然資源畜産省. 畜産局

ロ. 隊員勤務先名称: REGIONAL LIVESTOCK DEVELOPMENT OFFICE, MBEYA 日本語名称 (ムベア地区家畜診療所)

所在地: MBEYA市内. (P.O. BOX 57. MBEYA) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ムベア州の6地区の支所から成る診療所の統括. 指導する機関で. 同州全体の畜産行政を司どる。事務所の構成人員は獣医師3人 その他25名は職員等である。

ニ. 設備概要: ワチラン等の保存用冷蔵庫や手術用器具. 顕微鏡等は一応揃っている。オフィスの他に付帯してフウニックがある.

(2) 隊員の業務内容:

細川隊員及び現在活躍中の竹下隊員の交替隊員の要請で3代目となる。
同診療所の業務としては ①診療所に於る患畜の診療 ②野外に於る家畜の診療と管理指導 ③畜主に対し動物薬購入許可証の発行 ④屠場に於る豚肉等の検査 ⑤家畜の移動に必要な許可証. 証明書の発行 ⑥伝染病発生時の措置及び移動禁止令の発令 等が挙げられる。
従って. 隊員は他の医師とともに. これら業務を遂行することとなる。

(一). 隊員の業務上の地位: Regional Veterinary officer (地位は高い)

(二). 技術の範囲: 上記業務を遂行する上で ①屠畜検査(豚. 牛) ②大動物の去勢. 笑一胃切開 子宮脱整腹及び妊娠鑑定 ③小動物の卵巣摘出術及び断耳. 断尾術 ④血液検査(染色及び鏡顕) ⑤解剖所見を記載できる英語力 が最低限技術的に必要である。

(三) 業務の形態: 通常はオフィスワークであるが. 野外診療もたびたびある.

(四). 利用できる機械: 一応揃っている.

(五). 職場に於る英3国人: キューバ人女性獣医師1人 (Regional Veterinary officer)

(六) 使用する言語: スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニアの家畜保有数は多く. 国の経済に大きな影響を持っている。他方. これら家畜の飼育. 診療予防に携わる技術者が少なく. 特に獣医師の資格取得は留学に頼っていたこともあり不足している。また. 診療所の管理者は現地人ドクターであるが. 主に行政. 管理面を多忙であり. 実際の診療等の業務は隊員が行なうことになるが. 1代の隊員の協力活動が高評価を受けているのでこの要請に結びついた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 資格: 大学卒で獣医師免許取得者
② 実務経験: 2年以上.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 20 日

ザンビア　135 獣医師

調査者氏名　奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer (日本語) 獣医師(大動物)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 4 人	訓練開始 56 年 8 月 派遣予定 56 年 10 月 受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先　Ministry of Agriculture and Water Development

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services

(日本語): 農業及び水資源開発省、獣医及びツェツェ制御事業局

ロ. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office (交替)　日本語名称 (州獣医事務所)

所在地: P.O. Box 16, Chipata　主要都市からの距離 (市内 ~~[illegible]~~ ~~[illegible]~~)

ハ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に8個所の主たる地方獣医事務所を有し、病理解剖を主とし、診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行っている。一方ルサカ郊外に新中央研究所が1979年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検、培養、細菌検査、毒検検査を主に行っている。

ニ. 設備概要: 1979年に協力隊事務局より特別機材供与として家畜衛生検査用機材(顕微鏡遠心分離器、解卵器、蒸気滅菌器、乾熱滅菌器、嫌気性菌培養器、蒸留器、虫卵検査板)が寄贈され、各地方獣医

(2) 隊員の業務内容: 事務所にも設置されている。その他、一応の設備はあるが、機器によっては修理の必要あり。又、薬品類(ワクチン、注射液、消毒液)が不足している。実験室はあるも充分とは云えない。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 獣医師として Provincial Veterinary Officer の監管下にある。

② 技術の範囲: 家畜(大動物)の診療(農場への往診、診療所での小動物の診療も含む)、病理解剖、ワクチン注射、寄生虫検査、血液検査、牛の妊娠鑑定、事務所業務(局長への英文報告書作成)。家畜は主として肉牛、羊、山羊、豚、鶏等が対象となる。

③ 業務の形態: 農家、農場への往診業務。同事務所内実験室での解剖、検査等の業務。及び事務所業務。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 獣医大学は当国にはないが家畜飼育士、獣医補助手のための養成学校卒業者が対象となりうる。

⑤ 現地で利用できる機材: 上記寄贈機材の他、一応整っている。大動物用解剖機材等一式を持参した方がよい。産科関係機器、薬品(大動物用鎮静剤)も当座の分持参の事。

⑥ 職場に於る第3国人及び日米専門家の配置状況: Provincial Veterinary Officer … スリランカ人1名

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

外国人コントラクター(特にヨーロッパ系)の帰国に伴う切り替え要請として1978年より継続して派遣しているが、ザンビア人獣医師6名(獣医局長を含む管理職にあるためほとんど現場の業務はしない)、外人コントラクター約20名がおり獣医大学のない現在、コントラクター又はボランティアに頼っている。ザンビア人獣医師の不足と家畜の病気が多いこと、事務局からの特別機材供与、前任隊員の実績が高く評価され、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒、獣医師免許必須。大動物に関する知識及び診療経験3年以上。外人コントラクターが多いため又、毎月英文レポートの提出が必要であるため英語力(専門用語含む)が要求されている。地方へ単独赴任することとなるため、当然のことながら、強じんな精神力と定着性が要求される。単車及び普通車免許取得のこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

135 獣 医 師

記入昭和 55 年 4 月 1 日

調査者氏名 奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Veterinary Officer (日本語) 獣医(小動物)	(男) 一 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 55 年 10 月 派遣予定 56 年 2 or 4 月 受入期限 56 年 2 or 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development

イ. 配属先名称(現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control Services

(日本語): 農業水資源省 獣医及ツェツェ制御事業局

ロ. 隊員勤務先名称: Provincial Veterinary Office 日本語名称(州獣医事務所)

所在地: ルサカ(交替) ウンドラ(交替) 主要都市からの距離(より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 同局はザンビア全土に8個所の主たる地方獣医事務所を有し、病理解剖を主とし、診療、ワクチン接種及び寄生虫検査等の業務を行なっている。一方ルサカ郊外に新中央研究所が1979年に完成し、病理鑑定、組織切片の鏡検、培養、細菌検査を行なっている。獣医師約26名(外人コントラクター含) 牛150頭、ヒツジ、ヤギ28万頭。

ニ. 設備概要: 小動物診療室1、検査室1、解剖室1、狂犬病隔離犬舎1、犬舎1、その他オフィス。1979年協力隊事務局より特別機材供与として家畜衛生検査用機材が寄贈されている。一応の設備はあるが機器については修理の必要あり。

(2) 隊員の業務内容: 尚、ルサカ診療所にはX線装置が協力隊事務局より1979年に寄贈された。

主に小動物診療室にて犬、猫などの疾病の診断と治療、手術を行なう。(ルサカの場合は休・祝日にも午前9:00-10:00の出勤がある) X線による疾病判定(ルサカ)及び現地人スタッフの教育、解剖室にて小動物、鶏類の検体及び病理解剖、狂犬病の疑いのある動物の隔離、確定検査、死亡後の脳材料採取。大動物診療は他の獣医師が行なっているが不在の際には臨時に診療、妊娠鑑定、処方箋の授与、病理解剖を行なうこともある。又、手術その他特殊例の際は他の獣医師(大動物)に同行し、補助を行なう。事務的業務としては家畜移動許可証、輸出証明書(動物・象牙・皮・その他)の発行を行なう。農場等への訪問診療等もあり、飼養への助言を行なう。各種ワクチン接種。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 外国人コントラクターの帰国に伴う切り替え要請として1978年より継続して派遣しているがザンビア人獣医師の不足と家畜の病気が多いこと、又、前任隊員の努力と実績が高く評価され、さらに協力隊事務局からの特別機材供与があったこともあって獣医局の協力隊獣医師に対する期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大卒・獣医師免許必須(女子)、小動物に関する知識及び診療経験3年以上。ルサカの場合はX線操作が出来ること。大動物に関し一般的知識及びある程度の経験を有していること。英語力(専門用語)必須 車免許取得のこと。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 4 月 日

14001 農業協同組合

調査者氏名 在パラグアイ国 海外駐在員 望月 久

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
PARAGUAY	(現地公用語) COOPERATIVA AGRICOLA (日本語) 農業協同組合	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55 年 10 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 Presidencia de la República

イ. 配属先名称 (現地公用語): Secretaría Técnica de Planificación

(日本語): 大統領府企画庁

ロ. 隊員勤務先名称: Centro de Desarrollo de la Comunidad (CEDECO) 日本語名称 (地域開発センター)

所在地: Paraguarí 主要都市からの距離 (首都より 80 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

企画庁が主唱する地域開発計画の一環としてパラグアリ県ネラル・ベルナルディノ・カバイエロ地区がモデルケースに指定され、地区住民の生活向上、インフラ整備等を当面の目標に1980年から各種事業が推進されることになっている

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 - 指導員

② 技術の範囲 - 発足後間もない農工業協同組合に対し組織の強化、運営、経営等、組合活動に関する一般指導を行なう

③ 業務の形態 - 現在組織されている24戸の組合員に対し、組合基盤の強化を目的とした具体策の啓蒙、適性農業分野の指導等に従事する又巡回指導を通じ各種相談事にも応ずる。

④ 対象者々技術水準 - 一般農家を対象、技術レベルは初歩的段階と考えて良い。

⑤ 利用できる機材 - ほとんどなし。

⑥ 本国人等の配置 - なし

⑦ 使用する言語 - スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本計画は1975年以来政府部内で各種予備調査が行なわれた上で1980年より実施に移されているものであり いわゆる"パイロット・プロジェクト"的性格を有するものである。近年国内開発計画との関連もあり地方農村の開発、住民の生活向上等が模索されている現況下にあって本計画の推進、成否は他の計画にも影響を与えること必至であり我が方協力に多大の期待が寄せられている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は問わない 但し組合活動につき幅広い観点から協力し得るような実務経験者(3年以上)が望まれる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

14002 漁業組合

調査者氏名 飯野 岡り 左雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語) Organización y Administración de la Cooperativa pesquera (日本語) 漁業協同組合指導	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 55年 9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Dirección de Fomento Cooperativa

(日本語): 協同組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: 日本語名称 ( )

所在地: Tela 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 助成局の仕事は、各漁村に漁協をつくり、水産物の増加をはかると供に漁民の貧困からの脱出を目ざしている。従って組合精神の啓発、経営知識の普及が主な仕事。現地人普及員が4名いるが、水産経営に関する知識を持った者はいない。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 各漁協とも事務専門の職員がおらず、経営管理は役員(組合長、書記、会計)が行っている為、経営はずさんである。隊員の仕事は彼等に基本的な水産簿記を教える事から始まる。役員はすべて漁民から成っているが、小学校しかでておらず、計算が苦手の者が多く根気強く教えなければならない。絶対的な漁獲量の少なさから経営がいきづまっている組合が多く、その中でいかに組合経営を存続させていくかを考えなければならない。現在は各組合供、カヌー2~3艘に底刺網を3~4反にて小規模の自営漁業事業を営んでおるが、将来は、組合が販売事業を営むようになる可能性がある。従って各種販売事業を行う際の基本的な帳簿組織の知識を充分に身につけている事が大切。現段階では、漁民は複雑な帳簿は記入できない。~~従って~~単式簿記(現金出納帳程度)、漁獲日計、集計表、残高試算表、損益計算書、貸借対照表、程度の知識の普及をはかる事は必要。又12月には決算をする必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には現在1983年完成を目標とした、FAO及びBIDによる漁業振興プロジェクトがある。目的は広く国民に水産物を供給する事である。その為に、漁協を育成し、水産物の供給の役割を果たさせようとしている。従って組合の経営管理は非常に重要なものとなり、漁協指導隊員への期待は特に大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

全国漁業協同組合学校卒業者で漁協での実務経験が2年以上の者を希望する。文学水産学部水産経済学を卒業した者でもよいが、漁協での実務経験が必要。

・四輪免許

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 11 日

150 食品加工

調査者氏名 草野忠徒

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア	(現地公用語) Bakery and Confectionary (日本語) 製パン・製菓	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Dept. of Technical & Vocational

(日本語): 文部省 技術職業教育局

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vocasional Cheton. 日本語名称 (Cheton 職業訓練高校)

所在地: Sg. Petani. 主要都市からの距離 (ペンンより 35 [illegible])

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業者を対象とした2年課程の女子の家政科専門の職業訓練高校 洋裁 [illegible] と調理 [illegible] 美容 ホームマネージメント (客のもてなし方及び部屋の装飾) の各コースがある。

ニ. 設備概要: 大型製パン機 (スエーデン製 Vulcan-Hart model 780型) 他 調理機器完備。

(2) 隊員の業務内容:

1. 中学卒業程度の生徒を対象に製パン、製菓 (ケーキ、ビスケット等) に係る一般的理論及び実技指導に協力する

2. 料理を担当する教師は9名いる。すべて家政科教員養成大学 (短大相当) にて家政科全般の科目を履習し教育経験 2〜7年

3. 生徒は中学を卒業する時点で上級校への進学資格が得られず就職に備えて職業的技能習得を志す者で一般的に学力が低い

4. 授業はマレイ語

5. 技術範囲: 主に製パン機を用いた食パンの作り方、クッキー、バスディケーキ等の作方。

6. 特に携行すべき機材なし

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

製パン・製菓について上記大型製パン機の使用法が不明で切角の機材が遊休放置されているのでこれら機器の有効活用できるようになる事と、製パン・製菓の技術向上を図りたいという希望がある

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

製パン・製菓に関する専門学校を卒業し、製パン・製菓店で実際、製造にたずさわった経験のある者。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 4月 22日

150 食品加工

調査者氏名 石川満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語) Food Technology (日本語) 食品加工学	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) /人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education

(日本語): 高等教育省

ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology 日本語名称 (注モケニヤッタ農工大学)

所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約48億円)及び技術協力によって新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学、食品加工)、工学部3学科(機械工学、土木建築、電気)、学生数720名、教・職員120名

ニ. 設備概要: 建物、付帯設備、教材、機材共規模を同じくする我国の大学と同じ水準のものを完備している。

(2) 隊員の業務内容:

① 大学教員(農学部食品加工学科 食品加工学(I)担当)

② 食品の化学的性質と物理的性質及び生物学的性質に対する基礎的範囲、食品保存条件等。
食品加工機械に関して 分解、組立、保守、操作について
実習指導

③ ケニア人、日本人専門家と全く同様に大学の一教員として専門科目を担当

④ 学生はK.C.E以上(11年以上)、年令18才以上
(Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)

⑤ 本邦より購送した機材(約11億円)を使用出来る

⑥ ケニア人教職員80名、日本人専門家22名

⑦ 英語(講義を全て英語で行うので特に英語に堪能である事が望い)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は第4次経済開発5ヶ年計画で国家必要な中堅技術者の深刻な不足を痛感しこれに対処するため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。
本学はその頂点にあって今後のケニアの技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農芸化学 or 食品加工学関係の修士以上

経験 3年以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 10 月 日

150 食品加工

調査者氏名 国担当 中工(中遠)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンガニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 食品加工(畜産加工)	(女) 人	派遣予定 56 年 7 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称(現地公用語):

(日本語): Mwanza 州政府

ロ. 隊員勤務先名称: Mwanza 州政府企画室　日本語名称( )

所在地: Mwanza [redacted]市　主要都市からの距離(ダルエスサラーム 1250[redacted]キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

Mwanza 州政府が新らしく家畜の屠殺場を建設しており、同屠場では畜産物の加工、および畜産加工の職業訓練も計画されている。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

新らしく建設された Mwanza 州政府屠場に勤務する。同屠場では牛をはじめ、羊、ヤギなどを屠殺した[redacted]後、直接市場に出す肉、および加工用肉の分離を行い、残部の骨、血などを利用して飼料、肥料も[redacted]くる。皮はなめしは行わないが乾燥まで行う。

隊員はこの屠場において、ハム、ソーセージ等の[redacted]、燻製品、および食肉カンヅメの生産について指導を行う。併せて飼肥料の[redacted]生産指導も行う。

近代的な設備を整えた屠殺から加工までを行う一貫生産屠場で業務にあたり、そこでの畜産加工について指導的役割をになうことになる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

待望の新屠場が完成し、畜産品の加工が可能になるのことに大きな期待が寄せられている。この新屠場は武藤シニア隊員が当初から手がけてきたもので、同隊員の畜産加工技術、知識の高さに比べてひけをとらない程度の新隊員が望まれる。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

畜産学科卒、大学卒、実務経験 2~3年。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

1.- PRODUCTOS LACTEOS　150 食品加工　記入昭和 '55 年 3 月 20 日
2.- ENVASADO DE CARNE
3.- PANADERIA Y CONFITERIA　調査者氏名 在ホンデュラス調整員 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) PROCESO DE ALIMENTOS (日本語) 食品加工 (食肉加工)	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 81 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL　国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): CENTROS FIJOS Y CENTROS MOVILES

(日本語): 職業技術訓練センター

ロ. 隊員勤務先名称:　日本語名称 (職業技術訓練センター)

所在地: JUTICALPA, CHOLUTECA Y LA PAZ　主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成(技術、技能者養成)を目的として設立され、1979年より本格的な活動が開始された。
テグシガルパにINFOP本部があり国内2か所に職業技術訓練センター3か所に農業技術センターを有する。

ニ. 設備概要: 農業部門は中部La Paz、東部Juticalpa、南部Choluteca の3か所のセンターにて教育指導が行われている。設備は国内企業からの拠出金、国連、西ドイツの援助により約8割は整備されている。

(2) 隊員の業務内容:

隊員は上記3か所の農業技術訓練センターを中心に農家の子弟(15才~18才の青年)及び農民に対し食品加工(乳製品、食肉、製菓製パン)の理論、実習指導を行なうもので必要に応じて農家、工場への巡回指導、地方講習会を実施する。国内中部、東部、南部地区は特に牧畜が盛んであるが農家には子弟を農業高校で学ばせるだけの経済力はない。経験にたよる技術には限界があり、地場産業育成のための技術者養成が政府の最大の課題となっている。INFOPは一般民衆のための技術教育機関で、中心になっている青年部門は小学校卒業者が入学試験を受けられるシステムになっている(1クラス15人編成、3年制)

① 隊員の業務上の地位 = 農業技術訓練センター教師、改良普及員

② 技術の範囲 = 指導対象者が農民とその子弟(小学校卒の学歴)であるところから高度な技術は必要としないが、実務経験が最低3年は必要となる。牧畜業に関する基礎知識及び衛生、保健、管理の知識も指導上不可欠である。教科書、教材の作成、調査、実験も課せられ、授業計画(年間、講習会)も現地事情に合わせ立案する。

③ 業務の形態 = 訓練センターの時間割、午前7:00~午後3:00(青年部門) 午後6:00~8:30(農民再教育)

④ 対象者 = 農民とその子弟。カウンターパートには同僚の教師が予定されており現地側教員の育成も要請されている。

⑤ 現地で利用できる機材 = 指導に必要な機材は8割程度整っているが教科書、マニュアル類が少ない。基礎指導書を携行の上、派遣後隊員自身が調査し現地に合わせた指導法を考慮する。

⑥ 専門家 第3国人の配置、ラパスセンターに西ドイツ専門家(食品加工ではない) ⑦ 使用言語 スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンデュラスは農業を基幹産業としており人口の3分の2が農業に従事、牧畜は全農業生産の15%を占める重要産業である。農民の技術向上による品質、生産量の向上への期待は大きい。隊員の地道な努力の積み重ねによる協力が最も望まれる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒でもよいが大学卒が望ましい。実務経験3年以上は絶対条件。乳製品、食肉については牧畜業の基礎知識を有するもの。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 7 月 30 日

160 森林経営

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) FORESTRY (日本語) 森林経営	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MAMBUSAO AGRICULTURAL and TECHNICAL COLLEGE (MATEC)

(日本語): マンブサオ農科大学 (マテック)

ロ. 隊員勤務先名称: 同上　　日本語名称 (同上)

所在地: MAMBUSAO CAPIZ　　主要都市からの距離 (Roxasより47キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 4年制の農業科 農業教育科 家政科の3学科と2年制の林学科を有する農科大学である。また4年制の高校が付属している。学生数1,600人、教員数70人、年間予算約200万ペソ(6000万円)

ニ. 設備概要: 農地含む大学の敷地120ha、その他園芸用圃場9ha、その他山林、未開地として約3000haの所有地あり。大型トラクター1台(50馬力)、ハンドトラクター2台、気象観測施設

(2) 隊員の業務内容: 国土の1/6を占める無立木の草原の再造林を国家的事業として進められている。ここMATECにおいても3000haの未開地は再造林予定地である。学校側も国のプログラムに沿って植林を進めている。主な造林樹種はマホガニーであるがその他イピルイピル、ナラ、ティーク等もある。それを生産する苗畑も小規模ながら校内にある。これらをふまえ、林業特に植林、保育までの業務を有効的に進めることが望まれる。

①隊員の業務上の地位: 苗畑管理、植林技術、保育等のテクニカルアドバイザー、学生相手の授業の担当

②技術の範囲: 扱う樹種が日本のそれと全く違う為、南方樹種に対する予備知識は絶対に必要。授業の為には一般、専門両面において巾広い知識が必要。

③業務の形態: 上述の通りであるが、要請主である学長と現場との協力隊に対する意識の差があり、テクニカルアドバイザーといっても自分から積極的に動かない限り意見を求めてくることは絶対に無い。

④カウンターパート等の技術水準: カウンターパートとなる教官は男24才、大卒2年目。

⑤現地で利用できる機材: 鍬類は現在使用に耐えるものは無いが学校、協力隊事人局の共同で購入予定。その他ポット造林用のナイロン袋は十分にあるが、実習、実験に使うような機材は皆無である。

⑥第3国人専門家: 米国平和部隊男2名、畜産と造園、女性1名水産隊員として隣町にある分校に居る。協力隊員2名がいる。

⑦使用する言語: ビサヤ語の一方言(通称MAMBUSAONON)、授業は英語　(畜産、野菜)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上述した様にこの国は植林事業を大々的に押し進めており、行政的にも技術的にもより効果的方法を模索中である。そのことはこの学校でも同じ事である。しかし現実にはこの学校は植林を進める以前の問題として林学科自体の教官の不足が問題である。学校側としては、協力隊に人材不足の穴埋めを求めて来たものである。

(西屋「秋祝」隊員 54/1 の交替要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①学歴: 大学卒(農学部 林学科)専門一般両面に巾広い知識が必要

②取得資格: 資格は特に必要は無いが、測量の知識は是非必要、英語力は授業に必須条件

③実務経験: 大卒後少なくとも2年間以上の、特に苗畑管理の経験を有する人が望しい

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

160 森林経営
160 森林経営

記入 昭和 54 年 8 月 2 日

調査者氏名 山本泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Forestry (日本語) 森林経営	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 54 年 10or12 月 派遣予定 55 年 2or4 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Department of Forests, Ministry of Forests
(日本語): 森林省, 森林局

ロ. 隊員勤務先名称: the Community Forestry Development Project 日本語名称 (地域共同体森林開発計画)
所在地: 上記 project の Forest Division 7カ所のうちいずれか 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 当プロジェクトは,政府の新森林政策として ネ側森林省が 国連(FAO)の技術協力と,世界銀行の財政援助により 1979年 7月から始める地域共同体森林開発事業4カ年計画(第1期)である。計画では当国の28地区(district)にまたがる17営林署が各担当地区の森林開発事業を遂行することになり,そのうち下記7カ所(営林署)が国連の associate expert 及び各国ボランティアに任せられる。: Ilam, Okhaldhunga, Sindhuli, Pokhara, Baglung, Doti, Baitadi.

~~ニ. 設備概要~~:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: ネ側営林署職員を指導する立場で,国連の Associate Expert と同等。
② 技術の範囲: 林業普及, 養樹, 再植林
③ 業務の形態: (a) パンチャヤット単位の森林開発事業の計画,遂行, (b) 営林署及びパンチャヤットにおける養樹の管理運営, (c) 営林署スタッフ及びパンチャヤットの林業普及員への指導(特に,住民参画の促進,森林保護,再植林,森林経営について) (d) 本プロジェクトの村落共同体における効果測定
④ 対象者,カウンターパート: パンチャヤット(村,部落)の林業普及員及び地元住民が対象で,カンターパートは営林署スタッフ。
⑤ 利用できる機材: 不明, 但し必要機材は,国連,世界銀行から供与される。
⑥ 中3国人: FAO技術顧問(日本人),他欧米の associate expert, volunteer が予定されている。
⑦ 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待

ネパールでは1957年の国有林化ののち,民衆は森林事業には事実上積極的関与はできなくなった。が,やがて政府は森林資源の保全・保護に民衆の参加が得られねば森林資源が枯渇に至るとの認識に返り,1977年ネパール森林政策史上初の森林条例の修正を行った。すなわち「パンチャヤット保有林,パンチャヤット保護林」という地域共同体の維持・管理に任せる民有林に近い新しい形としてうまれたものである。本プロジェクトの目的は,ネパール地域社会の生活向上を計る長期にわたる国家政策のもとに,山間部地元住民の参画によって,燃料用の薪,家畜用飼料を生産し,さらには土壌の流出,土砂崩れで荒廃している山林を復旧することである。これが究極的にはネパール山村地域住民の労働力,自然資源の最大限の利用となり,ネパール社会全体の社会・経済の発展に寄与することになるとしている。

森林省としては本計画の遂行にあたり,技術面では国連(FAO),財政面では世銀からの援助を受けているが,技術者として国連の associate expert 及び各国 volunteer に参加を求め,各営林署での民衆と密着した現場業務への協力を要請している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

・林業の実務経験(2年) ・地域開発への関心,意欲のあること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

160 森林経営

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Projecto & Research Officer (日本語) 森林経営	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 2人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources

(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Forestry 日本語名称 (森林局)

所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 林産物検査ユニットの結成
- 情報収集ユニットを結成し適切な収集法を考案する
- 林業課生産ユニットの産品の最終用途に関する調査を行なう
- 使用言語: 英語 (堪能である必要はないが意志の疎通がはかれること)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒 (経済統計を含めた森林経営を修得した者)
2. データの収集・分析・報告書の作成のできる者
3. 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

160 森林経営

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Forestry Inventory Officer (日本語) 森林管理	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources

(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Forestry 日本語名称 (森林局)

所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・業務上の地位: 森林管理ユニット (Forest Inventory Unit) の責任者

・業務内容: 植林及び生産計画、伐採計画、生産表、植林する種類の料金表の作成における森林管理の計画、実施、及び監督

・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

(1) 大学にて関連の学位修得の者

(2) 実務経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

16003 生態調査

記入 昭和 55 年 9 月 17 日

調査者氏名 谷川与志雄 矢野陽二

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア（サバ州）	（現地公用語）Forest Entomology （日本語）森林昆虫学	（男） 1 人 （女） 人 （どちらでも可） 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 7 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

（1）配属先

イ．配属先名称（現地公用語）：Forest Department Sabah (JABATAN HUTAN)

（日本語）：サバ州森林局

ロ．隊員勤務先名称：Forest Research Centre　日本語名称（森林研究所）

所在地：Sepilok, Sandakan, Sabah　主要都市からの距離（サンダカンより25キロ）

ハ．事業規模及び内容：サバ州唯一の森林研究所で8部門から構成されている。昆虫部は現在6名の現地スタッフに加えて1名の隊員が活動しているが、来年春に吉井良三専門家（JICA）…昆虫部長が再赴任の予定。

ニ．設備概要：創設以来6年目になるが設備は各部門ともまだ十分とはいえない。昆虫部は飼育室の新設や標本室の改造が予定されているが時期は未定。（写真後日送付）

（2）隊員の業務内容：サバ林業界はいよいよ自然林内からの単なる材採型時代から、内外の樹種を含めた栽植型のそれに移りつつある。現在他のセクションが進めている種苗から施肥までの過程において、各々の樹種に特有の虫害が現われてくる。例えば枝や幹に穿孔する甲虫類あるいは若い葉を食害する小蛾類などのケースが目だっている。一般的に次のようなことが隊員の仕事の中心である。

① 主要な森林害虫の生活史調査（飼育、観察）② サバ各地のプランテーションの虫害の定期巡回調査 ③ 標本作製と管理 ④ カウンターパートの技術指導と部長の業務補佐

1. 地位…同研究所研究員
2. 技術範囲…昆虫分類と生態に係わる一般知識と飼育技術
3. 業務形態…研究員としての必要なフィールド及びオフィスワーク
4. 対象者等…部長吉井良三専門家（来年4月再赴任）、現地スタッフ（6名）うち一名がリサーチアシスタントで他のメンバーは昆虫についての学問的な知識・技術はなし。自ら進んで研究に取り組み姿勢にやっ欠けるがサンプルの採集、標本の作製などはひととおりできる。
7. 課…主として英語 多少のマレー語を要するも現地にて可能
5. 機材…顕微鏡（実体、光学共にある）採集具、標本作製具、飼育具
6. 第3国人…全研究所に日本専門家1名、カナダの研究者1名、最近FAOの専門技術者1名

（3）受入希望の背景と受入国の期待：先任隊員の後をカバーするのが目的で、その業務の継続と推進が期待される。又一方では新たなプロジェクトに沿った活動が予定される。
すでに進行中の研究活動はプランテーション内の主要栽植樹の穿孔性昆虫や食葉性昆虫の生活史や天敵の調査を通してその防除法を発見するという方向で行われている。さらに専門家の業務の補佐も要望されている。

（4）隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：昆虫学の専攻大学者で
が類（鱗翅目）の幼虫の飼育、観察を行った経験がある人、また可能であれば甲虫類（鞘翅目）等の分類一同定を行った経験もある人が望ましい。
いずれにしてもフィールドでの採集、調査が主体となるので頑強な人が向っている。併せてレポートの英語での記述が可能であること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 10 日

161 製　　材　　調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Sawdoctor (日本語) 製材機器	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 2人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources

(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Forestry　日本語名称 (森林局)

所在地:　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

○ 丸のこ・帯のこ・木材工具の保守整備、及び現地人スタッフの養成

○ ワークショップの運営 → 操作

○ 使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上　2. 実務経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 8 月 9 日

170 漁具漁法

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishing Gear and Method (日本語) 漁具漁法	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR)
(日本語): 水産資源局

ロ. 隊員勤務先名称: BFAR, Region I　日本語名称 (同上)
所在地: Dagupan City, Pangasinan　主要都市からの距離 (マニラより220キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産資源局は Central Office, 12の地方局, 78の支局及び試験場からなり、自治体で管轄される水面以外の水域における資源の管理, 保護, 開発, 利用及び処理等の管轄業務にあたる。

ニ. 設備概要: 漁具漁法隊員が使用可能な設備はない。

(2) 隊員の業務内容: 北西部ルソン一帯をカバーするリージョンIのうち海を持つ4つのプロビンス(イロコスノルテ、イロコススール、ラウニオン、パンガシナン)には現在隊員が各々一名ずつ配置され活動している。
主な隊員業務としては漁業実態調査, 漁業デモンストレーション, 水産教育分野等が行なわれており、フィールドワーク主体である。漁, 海況調査データ収集に基づいた上での総合的な漁村への普及活動が望まれる。

① 隊員の業務上の地位 … 漁業普及員
② 技術の範囲 … 海洋観測および各種漁具漁法の理論かつ実践における基礎的な知識を要する。場合によっては前任隊員の引継ぎ事項として簡易網のデモンストレーションが含まれるかもしれない。
③ 業務の形態 … 広範な漁業普及活動及び北西部ルソン海域の総合的な漁業実態調査を推進するにおいて現時点では各州に一名ずつ配置され、それぞれが十分連絡をとり合って現地スタッフと共に業務遂行する。
④ 対象者 … 漁民
⑤ 現地で利用できる機材 … 特に無し
⑥ 第3国人等 … アメリカ平和部隊 数名
⑦ 使用する言語 … 英語, イロカノ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 任期満了に伴なう交替隊員の要請(新里 稔一隊員(54/2))の漁業調査及び普及活動の継続推進。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
水産大学卒で実務経験を有する者が望ましい。ただし水産高校卒で十分な実務経験および語学力がともなえば可。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和55 年 3 月 30 日

170 漁具漁法

調査者氏名 倉持繁（[illegible]）

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) خبير الصيد البحري	(男) 2 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 漁業専門家（漁具漁法）	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限56年2月迄に現地到着のこと

（1）配属先

イ．配属先名称（現地公用語）： المؤسسة العامة للأسماك فرع الصيد البحري باللاذقية

（日本語）： 農業農地改革省 水産公団 ラタキア支所

ロ．隊員勤務先名称： 水産公団 ラタキア支所　　日本語名称（　　）

所在地： ラタキア市内　　主要都市からの距離（　より　キロ）

ハ．事業規模及び内容： 水産公団唯一の海面漁業支所であり 80トン漁船三隻が運用されている。

ニ．設備概要： 80トン漁船（360HP 底曳網、旋網兼用船）3隻
20HP 小型船 6隻。

（2）隊員の業務内容：

隊員の業務上の地位
支所に配属され必要とされる際に乗船する。
陸上では支所スタッフ 海上では船長待遇となる

技術の範囲
日本における同規模船 100～250トン級の漁船の船長と同様もしくは準ずる技術が要求される。
具体的には トロール漁法、旋網漁法の知識、技術、及び航海術、運用術、海上法規等に関する知識。
又 刺網、棒受網、延縄漁法（小型漁船による）に関する知識。

カウンターパート　　なし

使用する言語
乗船時は アラビア語
支所においては英語の使用も可。

（3）受入希望の背景と受入国の期待：

シリア国においても 又当水産公団においても 漁業に関し豊富な経験、技術を有す者がいないため 当隊員の派遣は熱望されている。

（4）隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

○ 水産高校漁業科専攻科卒 この場合 乗船履歴5年以上　又は
○ 水産大学 〃 〃 この場合 乗船履歴3年以上

○ 海技免状 ~~乙種船長~~（甲種二等航海士以上）は絶対条件

○ 半年間の技術研修で、1981年の8月～10月派遣

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 9 月 20 日

170 漁具漁法

調査者氏名 江畑義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語) Fishing Gear and Methods (日本語) 漁具漁法	(男) 1 人	訓練開始 年 月
		(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF NATURAL RESOURCES AND ANIMAL PRODUCTION

(日本語): 天然資源畜産省

ロ. 隊員勤務先名称: TANZANIA FISHERIES CORPORATION (TAFICO) 日本語名称 (タンザニア漁業公社)

所在地: DAR ES SALAAM 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: TAFICOは1974年商業的漁業の育成を目指し設立された漁業公社で首都に本部生産部、加工部を置き、この他海岸部に2ヶ所の木造造船所及びビクトリア湖、タンガニーカ湖各湖畔に2ヶ所の小型鋼船を作ることができる造船所を持つ。全従業員約450名

ニ. 設備概要: 9隻のトロール船(90才4隻、60才2隻、10才3隻)を有し、製氷・冷凍工場も併せ所有している。1978年の漁獲450才(35エビ114才)1979年は130才(35エビ27才)。日本からの供与船が新たに加わることになっている。

(2) 隊員の業務内容:

実際に船に乗り込み海上での技術指導と陸上では漁具の改良、設計、製作、及び新らしい漁具の購入等が日常の業務である。現在はトロール漁法だけであるが、日本から供与される巻網船一隻、トロール船5隻その他はえ縄、刺網等漁具一式についても、これらの指導をすることになっている。

1. 業務上の地位: 生産部に配置され、漁具漁法の専門家(Master Fisherman)として扱われる。
2. 技術の範囲: 漁具漁法に関する専門的知識(特にトロール漁法とまき網漁法)を有し、かつ小型漁船(60才ぐらい)の操船技術も要す。
3. 業務の形態: 教育担当者として海上・陸上で技術指導にあたる。日本より船が到着した場合は海上で陣頭指揮をとることになる。
4. カウンターパート: 現地の水産講習所卒、基礎的知識は有す。年令は25〜30才
5. 現地で利用できる機材: 一応揃っている。網地は現地調達可能
6. 職場に於ける先輩隊員: イギリス(2名) キューバ(10名) イギリス人はイギリスから供与された船(10才3隻)だけを手がけ、キューバ人は各船の船長・機関士となっているが、保守・整備には全く関与せず、船が壊れば職場は休んでいる。
7. 使用する言語: スワヒリ語及び英語(現場は全くスワヒリ語)
8. その他: 現場状況写真別添

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タンザニアは東アフリカに於る最大の漁業生産国の一つである。この豊富な魚資源を国民のタンパク源とすべく、又、換金性の高いエビを貴重な外貨獲得源とすべく事業目的を持つ組織であるが、現在外国から供与された船を使って操業している。しかし技術が未熟で、これら船を十分に使いこなすには至らず、漁業先進国である日本のすぐれた指導者を必要として(事前調査の技術)いる。
また、前任者 桑田幸二隊員(53/5.前)の協力活動も高い評価を得ている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

① 水産高校専攻課卒程度
② トロール船又は まき網船にて2〜3年の海上での実務経験が必要である。
③ 乙二程度の海技免許取得者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

協力隊駐在員 田上実

記入 昭和 55年 9月 5日

170 漁具漁法　　調査者氏名 乾 棵男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス共和国	(現地公用語) Investigación de Recursos Pesqueros (日本語) 漁業資源調査	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Direcución General de Recursos Naturales Renovables

(日本語): 天然資源更生総局

ロ. 隊員勤務先名称: Barco de Investigación y Experimentación 日本語名称 (試験調査船)

所在地: Omoa, Departamento de Puerto Cortés 主要都市からの距離 PCortés より 15キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 協力隊派遣は昭和50年からであり55年9月現在9名のべ11名が零細漁業の発展と漁民生活向上をめざして働らいている。今までは漁協の組織作りがおな仕事であったが、これからは海へ出ての資源・海洋調査、漁場探査、漁具試験、およびその普及が主業務となる。

ニ. 設備概要: 働らくのは1980年日本から贈与された5トンの調査練習船(FRP)であり、海洋観測機器、漁具(刺網、底曳網、延縄等)を装備している。現在協力隊員4名、現地人2名で働らいている。

(2) 隊員の業務内容: 上記の如く5トンの調査船で働らくことになる。内容は海洋観測、刺網、底曳網、延縄、籠等漁具の作製およびその試験操業、魚介類の分類、生態調査と多岐に渡る。もちろん、その結果はレポートとして現地配属先に提出するので、船の運用、操業からデータの取りまとめまで、全て船の乗り組み員で行なう。

①隊員の地位: 天然資源更生総局調査部 Departamento de Investigación Aplicada の水産技師

②技術の範囲: 上記の如く多岐に渡る。 ③業務の形態: 月に20日程度、調査・試験操業を行ない、残りの日に報告書をまとめる。調査計画は、かなり隊員の自由になる。

④カウンターパート: 現在2人の現地人カウンターパートが乗船している。1人は米国生れの生物学者(30才)であるが海洋生物、漁業についての知識はない。もう1人は利用漁業監視員をしていた(24才)が、同様、知識はない。本国にはBiologoと称する生物屋は多いが、海洋生物および水産に明るい者はいない。 ⑤機材: 船には一応の海洋観測機器が装備されているほか、魚探(50kc)、潮流計、レーダー、各種漁具を自由に利用できる。 ⑥外国人専門家等: 漁業には協力隊員9名のほか、スペイン人、イギリス人、ペルー人等が国家開発計画に参与している。今年9月5日に日本人専門家3人の派遣が正式に決まり、それに伴ない、15トン級の調査船が贈与される予定。養殖では南サンペドロにソ台湾専門家チームの手がけた養殖試験場、コマヤグアに日本協力隊が働らくチョラビアの養殖場がある。 ⑦使用言語: スペイン語。漁村ではガリフナあるいはミスキートという土族語を話すが、スペイン語も通じる。Isla de la Bahía では英語が普通であり、スペイン語はうまくない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本国は1983年まで国家開発5ヵ年計画の一環として沿岸漁業の発展を目ざしている。BID(米州開発銀行)からの援助による6百万ドルのプロジェクトを進行中であり、開発に先立っての資源量の把握、新漁法の開発等がまたれている。受入国は資源量の推定、漁場開発等、協力隊、日本人専門家に寄せる期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 海によくなじんでいること。
②大学で資源学・海洋学・水産物学を専攻し、現場(野外・海)での調査経験を有すること。
③業務はわずか5トンの船で行ない、夜間操業、徹夜操業、ときには2・3日船上で揺られながら眠るということもあり、生活は不規則になるので体力強健なことが絶対条件である。
④4. 自動車免許、小型船舶操縦士免状があれば好都合 5. 実務経験不問

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 3月15日

170 漁具漁法

調査者氏名 名倉尚志

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ARTE DE PESCA (日本語) 漁具漁法	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタリカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: Division de Pesquería y Nautica 日本語名称 (コスタリカ大学水産学部)

所在地: PUNTARENAS 主要都市からの距離 (首都より120キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 本学部(2年6ヶ月制)は1979年に新設されたもので、将来当国の水産関係官公庁の職員及び船舶幹部職員を養成する機関である。

ニ. 設備概要: 校舎(1棟)及び若干の書籍のみ。その他は整備中。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 大学教授

② 技術の範囲: 以下の学科目について教授する

(イ) 漁具学(漁具材料, 漁具物理, 設計法)

(ロ) 漁法学(曳網, 旋網, 刺網, 延縄, その他)

(ハ) 漁具実習(漁網製作, 修理等)

③ 業務の形態: 主に大学にて講義を受け持つ

④ 対象者: 高等学校卒業者

⑤ 現地で利用できる材材: 現在のところなし

⑥ 日米専門家は現在のところいない

⑦ 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本学部は昨年新設されたため教官が不足しており, 教授陣の充実が急がれている。特に水産先進国である日本の水産教育に情熱を燃やす有能な青年を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 大学水産学部漁業学科卒業者で漁具漁法学もしくは漁撈学を専攻した者。大卒以上。

○ 漁具漁法学もしくは漁撈学以外の学科目を専攻(卒論等で)した者は不可

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

170 漁具漁法

記入 昭和55 年 9 月 11 日

調査者氏名 [illegible]

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 6 月
	(日本語) 170 漁具漁法	(女) 人	派遣予定 56 年 10 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56年10月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Economic Development Department

(日本語): 経済開発省 水産局

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)

所在地: APIA 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

西サモアの漁業, 水産業に関する事業

ニ. 設備概要: 日本の援助による近代的ビルディング

(2) 隊員の業務内容:

漁具漁法の改良及び新しい漁具漁法の導入、そして普及。これらの業務を遂行してゆくために隊員にカウンターパート及び船外機付の大型~~船舶~~双胴船、漁群探知機が与えられる。また日本から多くの漁具がエイドとして送られており、それら全て~~が~~隊員が使用できる。それらの漁業として、fish trap, lobster trap, lobster gill net, trammel net, lift net line fishing, trolling fishing etc. などがある。
漁具及び設備等は非常に恵まれており、水産局の隊員に対する助力も非常に大きく、恵まれた環境で仕事することができる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西サモアの漁業の可能性を知らずることを期待しており、常に新しい漁具漁法に隊員が試みてゆくことを望む

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

日本での大規模な漁業の経験より、小規模な沿岸漁業を数多く経験している人間が隊員として適切。何故ならば任期中に数多くの漁法をtryしてゆかねばならないためである。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 8 月 18 日

170 漁具漁法

調査者氏名 吉村正泰

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ソロモン諸島	(現地公用語) FISHING GEAR & METHOD (日本語) 漁具漁法	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): DEPARTMENT of FISHERIES, MINISTRY of NATURAL RESOURCES
(日本語): 天然資源省, 水産局

ロ. 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION AUKI 日本語名称 (マライタ島 アウキ)
所在地: MALAITA 主要都市からの距離 (市より 0 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:
事務所 1, 教室 2 昨年の4月完成 FISHERIES DEVELOPMENT CENTRE と言う
(日本の無償協力によって建設されたもの)

ニ. 設備概要: サシアミ, ヒキナワ.

(2) 隊員の業務内容:
昭和53年度4次派遣山本隊員の交替として任務に当る.

① 隊員の業務上の地位: 指導員
② 技術の範囲: サシアミ, ジビキアミの作成と修理.
底びき. (200メートル位)
③ 業務の形態: 9時~4時 (月~金) 週単位で理論と実践を指導する
受講者は村単位のフィッシングループリーダー 計 10-15名
3月に一度報告行う. このほかは州内の各地区に出張する
④ 対象者, カウンターパート: フィッシングループ (小学程度) 助手 1-2名
⑤ 現地で利用出来る機材: (1)の ニ と同じ
⑥ 現場における第3国人 ナシ
⑦ 使用する言語: (英語) ピジン英語が主体

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
日本の無償協力によって昨年アウキに FISHERIES DEVELOPMENT CENTRE が設置され, 引続き山本隊員が派遣された. 山本隊員の業績が高く評価され, 引きつづき交替隊員の強い要請がなされ期待は大きい.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
サシアミ, 底びきの経験を有すること
学歴は特に問わないが実践の経験は必要.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表　新保昭治

171 養　殖

記入 昭和 55年 1月 10日

調査者氏名 校 浩樹

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fish Culture Specialist (日本語) (Aquaculture specialist) 養殖（海水）	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 1981 年 2 月 受入期限 1981年 2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称（現地公用語）：Bicol University, College of Fishery

（日本語）：ビコール大学水産学部

ロ. 隊員勤務先名称：Bicol University, College of Fishery 日本語名称（ビコール大学水産学部）

所在地：Tabaco, Albay Philippines 主要都市からの距離（レガスピより27キロ）

ハ. 事業規模及び内容：ビコール大学水産学部増殖研究室において大学スタッフとともに研究・実験を進めて行く

ニ. 設備概要：実験室（1980年6月完成予定）2ha 実験養殖池（海水）　実験研究に必要な最低限材はそろっている

(2) 隊員の業務内容：

① 隊員の業務上の地位 Reasench Consultant（講師）② 技術の範囲．甲殻類の増養殖に関する総合した知識が必要．特にプランクトンの培養など重要なポイントとなる．

③ 業務の形態．ラミエビ，オニテナガエビ．ドロガニ，ボラ等の養殖実験を行なう．大学での協力活動であるから当然学生及び先生への技術の伝達ということが第一である．しかしあくまでもこの大学を拠点として養殖の普及を考えていかなければならない．

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準．学歴及び年令：この項に関しては特に記す必要はない．なぜならばすべてが対象者であるからである．特に記すのなら フィリピン大学水産学部卒業の先生が2人同僚の所にいる 年令は．34才及び52才である．

⑤ 現地で利用できる機材．現隊員がある程度そろえたので機材に関する心配はない．

⑥ 職場に於ける第3国人及び日本専門家：今年8月ごろイギリスボランティアーが来着の予定．

⑦ 使用する言語．⑧英語．[redacted] ビコール．タガログ

(3) 受入希望の背景と受入国の期待：

現校 浩樹隊員の交替として

ビコール大学水産学部での種々の実験．研究を通して地域住民に貢献したい考えでいる

(4) 隊員の資格・条件（絶対条件について○印で囲むこと）：

大学卒業者（でも得れば修士）　実務経験の必要なし．卒業ですぐの方が仕事上よい

年令は 25～6才程度なら申し分がない．

隊員に要求される技術．⑧海水養殖の経験者．特に甲殻類に関しての知識を有すること．プランクトンの培養等完全に取得していること．講演を持つこともあるので英語も必要

55年3月29日現在非公式
なれど要請準備中
(公式)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養　　殖

記入昭和 55年 3 月 17 日
調査者氏名 山口廣治 山崎充

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレイシア (サバ州)	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 淡水養殖	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): SABAH FISHERIES DEPARTMENT
(日本語): サバ州水産局

ロ. 隊員勤務先名称: KENINGAU FISH BREEDING STATION 日本語名称 (ケニンガウ水産試験場)
所在地: KENINGAU SABAH. 主要都市からの距離 (ケニンガウより 4 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サバ州に5ヶ所ある淡水魚水産試験場の1つでサバ州の中央部に位置する。スタッフは所長以下9人で運営され オフィスワーク及び技術指導を行う。池は17面持ち、種苗生産、教本配布、養魚家への技術、病理、相談が主な業務内容

ニ. 設備概要: オフィスは町にあり Station は町より3km離れた場所にある。宿舎及び17面の池、機材小屋等あり 現在、孵化室の新設を試みている。

(2) 隊員の業務内容:

①地位 --- OFFICER であり (淡水養殖の指導技官)
②技術の範囲 ③業務の形態 --- 池の製図から、適所の決定を行ない産卵については、鯉、テラピア、ランパンジャワ、ナマズの産卵法を確立させるのが目的。特に今後はナマズの人工採卵を中心に進められて行く予定で、現在山崎隊員が孵化室の新設を試みており、その技術についての定着を計る事が必要となる。そして現場での実務指導及び一般養魚池への出張指導、オフィスでの計画書作製等。
④カウンターパート --- 所長 (Mr CONNY) は KENINGAU にて10年間務める34才で基礎知識は豊富な人物である。その他スタッフは2才～2.7才で実務指導中。
④機材 --- 機材は乏しく、実体顕微鏡1台、その他魚網、標本瓶程度であり、自己で創意改良が必要。K.K. にて必要な物は購入可。
⑥第3国人 --- 現在、協力隊員 (山崎充 (淡水養殖)) が協力している
⑦使用言語 --- 英語 (業務上の Report 会議等は英語が主となり、日常生活はマレー語の使用が多いので英語実力ある人はマレー語でも可

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニンガウ水試の主な業務はナマズ養殖の開発であり、Sabah ではこの水試のみが実験を行なっている。水産局としては、外来種より安価で安定した蛋白源として内陸部でのナマズ養殖の普及を期待している。成長率、飼料効率、産卵数の調査は済み今後は産卵床、ホルモン投与量の決定、初期飼料の開発が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 淡水養殖に関する知識及び実務経験がある事
2. 人工採卵、特に脳下垂体ホルモン投与、ゴナトロフィン等のホルモン処理が必要とされる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 3 月 10 日

171 養　殖

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 171 養殖	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 55 年 10 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Directorate of Fisheries, Ministry of Fisheries and Livestock

(日本語): 漁業畜産局, 漁業局

ロ. 隊員勤務先名称: Zangalia, Jessore, Chandina　日本語名称 (ジャンガリア, ジェソール, ~~チャンディナ~~ 各種苗生産養殖場)

所在地: Fish Seed Multiplication Farm　主要都市からの距離 (　より　キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 漁業局は全国に25カ所の種苗生産養殖場をもち, インドゴイ, テラピア, ナイロティカ, 等の種苗生産を行ない, 稚魚を村の池等へ放流し養殖の普及活動を行なっている。

ニ. 設備概要: 各種苗生産養殖場は, 80年よりスタートする5カ年計画にて UNICEF援助約8,000万円, JOCV支援にて各施設拡充予定。

(2) 隊員の業務内容: 現在トンギ養殖場に大西隊員がおり, 過去自然産卵にまかせておいた稚魚生産を独自の孵化水槽建設, ホルモン注射導入等改善, その技術を全養殖場に導入すべく UNICEFが資金援助することとなり, 隊員はその技術指導にあたる。

1) 隊員の業務上の地位: 場長と同格

2) 技術の範囲: 種苗生産及び普及に関する浅くとも幅広い知識

3) 業務の形態: 当面は各養殖場で始まる孵化水槽を含む施設拡充の指導が中心となるが, インドゴイのホルモン注射による種苗生産法の確立, 養殖飼料製作等が課題となる。

4) 対象者及びカウンターパート: 特定のカウンターパートはいないが, 場長と話合って決定される。

5) 現地で利用できる機材: 孵化水槽, 宿舎, ポンプ小屋, タンク, 倉庫等を整備する予定。

6) 現場における外国人: なし

7) 使用する言語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧増産計画のなかで, 池, 河川の多い当国において養殖は大きな意味をもっているが, 資金難のため, 単に自然産卵を待っている状況で充分な稚魚を供給できていない。UNICEFとJOCVの共同プロジェクトによる養殖場整備, それによる稚魚供給の飛躍的増大が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

ホルモン注射による種苗生産技術があること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 3月 3日

171 養　殖　　調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルビアト アルアスマルク (日本語) 養殖	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 S 55 年 10 月 派遣予定 S 56 年 2 月 受入期限56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): General Establishment for Fisheries. アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Kalaath el Moudik Farm　日本語名称 (カラアトムデューク養魚場)

所在地: Kalaath el Moudik in Grab　主要都市からの距離 (ハマより 70キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ① Kalaath el Moudik Farm ② Ain Taga Farm (タカ養魚場) ③ Shatha Farm (シャトハ養魚場) ④ Roudje Farm (ルージュ養魚場) いずれの養魚場も止水式で Common Carp. テラピア. 草魚を混養飼育、種苗生産及び食用魚の生産.

ニ. 設備概要: ① 現在 改造中. 草魚の種苗生産池 ② 産卵池36面、稚魚池4面、肥育池8面で総飼育面積 約45ha. ③ 産卵池27面、稚魚池11面、肥育池27面(各2ha) 等 総飼育面積 約60ha ④ 産卵池 16面、稚魚池 18面、肥育池 12面(各5.4ha) 等 総飼育面積 約63ha

(2) 隊員の業務内容:

① 上記四養殖場の技術顧問的な地位

② 鯉、草魚の種苗生産、止水式養魚法での一般的な飼育管理 (水質管理. 施肥方法. 給餌及び魚病のコントロール). カラアトムデュークにて. ムズリーブ養魚場と提携してオニテナガエビの養成試験

③ 通常 8.00 a.m. ～ 2.30 p.m. 金曜日と祝祭日が休み.

④ 各養殖場の主任クラスを相手に仕事をおこなう. 主任と言えども. 養魚技術に関しては. 鯉の種苗生産、魚病の診断. 治療が充分にできない. 自分の経験と他人からの聞きかじりのみである。

⑤ 草魚種苗生産用のフ化器、仔魚飼育用タンク. 顕微鏡

⑥ 約20年前 FAOの専門家がこのカラアトムデュークにてシリアで初めて養魚を開始した。1976. 77年の2回 北朝鮮の専門家が草魚の種苗生産を行なった。現在. 外国人専門家はいない。

⑦ アラビア語と英語.

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 20年来養殖事業が続けられているにもかかわらず、鯉の種苗生産さえ充分に行なわれていない. まして草魚の種苗生産は外国人技術者が指導してやらない限り不可能である. 1ha当りの生産量が約3ton/年にとどまっている. すなわち. シリア人の養殖技術者の不足から技術的な改善が遅れ. 上記の大規模な4つの養殖場合せての販売量が78年に340tonのみであった。大々的な技術改善とシリア人技術者の養成が必要とされている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒程度. 実務経験少なくとも2年間は必要であろう。日本で淡池養鯉に従事した人であれば充分に応用がきくであろう。

草魚. レン魚の種苗生産経験者.

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養　殖

記入 昭和 55 年 3 月 4 日

調査者氏名 大橋元裕

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
シリア	(現地公用語) タルビアト アルアスマルク (日本語) 養殖	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 S 55 年 10 月 派遣予定 S 56 年 2 月 受入期限56年4月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): General Establishment for Fisheries アルモアササ アルアマ エルアスマルク

(日本語): 農務農地改革省 水産公団

ロ. 隊員勤務先名称: Thoura Fisheries Laboratory 日本語名称 (サウラ水産試験場)

所在地: サウラ 主要都市からの距離 (アレッポより140キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 640 km² のアサド湖の水産利用を調査しており、ソ連に引続き西ドイツの援助で Limnology を研究している。アサド湖では現在漁業が行なわれているが、その水産利用の1環として1978年度より網生簀による鯉養殖が始められた。

ニ. 設備概要: 1980年に 4m x 4m x 2m の網生簀を50面用い、本格的な養殖が始められる予定である。

(2) 隊員の業務内容:

① 網生簀による養魚の技術指導を行なう。

② 網生簀による養魚一般　網の設定、放養尾数の決定、給餌管理、魚病のコントロール

③ 通常 8.00 a.m. ～ 2.30 p.m. 金曜日、シリア祝祭日は休み。

④ '78年度に網生簀が始められ、シリア人の対象者はほとんど網生簀養魚を知らない。農学部卒のカウンターパートがいる。

⑤ ⑥ 西ドイツ人専門家数名が5年間に渡り、アサド湖での水産開発の為、技術援助を行なった。1980年3月にて契約が切れ彼らは帰国する。機材は西ドイツの援助により、相当、当水試に入れられている。一応、日本の一般的水試に匹適する備品が利用可能である。

⑦ アラビア語と英語

テラピア、ニジマスの網生簀飼育も可能性がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

西ドイツ人が行なってきた、網生簀での養鯉試験から本格的な養殖事業を始める段階にて、外国人専門家が必要とされている。水産公団はアサド湖での網生簀養鯉を成功させて、この方法を他の湖(ホムス湖、ラスタンダム)にても利用する事を望っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

網生簀養鯉の実務経験を積んだ人　大学卒程度

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養　　殖

記入昭和 55 年 3 月 28 日

ザンビア

調査者氏名　奈良輪睦美

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) Fish Culture	(男) 1 人	訓練開始 55 年 10 月
	(日本語) 淡水養殖	(女) 人	派遣予定 56 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Land and Natural Resources

(日本語): 土地資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Fisheries　日本語名称 (水産庁)

所在地: P.O. Box 100, Chilanga　主要都市からの距離 (ルサカより 18 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産庁チランガ中央研究所には全部で32の素掘りの池があり、又28の実験用コンクリート養魚池がある。又、周辺には6つのイエダムがあり水源として利用されている。全国にはチパタ、キトウェ、ソルウェジ、カサマ、マンサ等に養魚場がある。

ニ. 設備概要: 実験室、事務所、魚獲用曳き網、ボート、揚水ポンプ等がある。しかしながら測定膜、水温計及び薬品類は不足している。

(2) 隊員の業務内容: ザンビアの養殖はティラピア類が主である。現在はその中でも S. Andersonii, S. Macrochir, T. Rendalli の三種が用いられており、これらの餌料試験、肥料試験(窒素、リン酸、カリ)が今後とも要請されている。その他単一性養殖(モノセックス、カルチャア)、種間交雑種を作り、その可能性あるいは必要性について調査研究することも重要な仕事となろう。
現在チェコスロバキアからの鯉の専門家が一名働いており、同国より鯉の稚魚を移入することを計画中であり、成功すれば鯉の養殖も業務の一環となる。
又、現在水産庁が力を入れている魚種としてラベオがあり、これはインド鯉の仲間で、ザンビアでは乱獲により、ルアンガ川に限定的に生息している。昭和54年度にはホルモン注射による人工種苗生産を試みたがあと一歩のところで産卵には失敗した。この魚は雑食性であり、成長も速く、美味であることから今後も大いに期待されており、重要な業務内容となろう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア政府は国民に対するタンパク源の確保の観点から魚の増殖に大きな期待を寄せている。当国は内陸国であるため水産資源としてはタンガニーカ湖、カリバ湖等の湖と、ザンベジ川、カフェ川、ルアンガ川等の河川に依存している。これらの湖や川は都市から離れており、都市部では魚の需要があるにもかかわらず供給が困難である。従って養魚場では農民を指導することにより養殖業者が増加することを望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
大学の水産学科(淡水養殖専攻)卒、現場経験3年以上が望ましい。
ホルモン注射による人工種苗生産の経験、鯉、ティラピアの養殖経験のある方が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

171 養　　殖

記入 昭和 55 年 9 月 8 日

調査者氏名 表 孝雄 (表孝)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタ・リカ	(現地公用語) PISCICULTURA (日本語) 淡水養殖	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 or 10 月 受入期限 ~~年~~ 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD DE COSTA RICA

(日本語): コスタ・リカ大学

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRO UNIVERSARIO DEL ATLÁNTICO　日本語名称 (　　)

所在地: トゥリアルバ　主要都市からの距離 (サンホセより 67 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 10コース(学科)から成り、各コース 20名～40名の学生が学んでいる。

ニ. 設備概要: 分校としてはまずまずの校舎、図書館等をもっている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位 : 講師 (INGENIERO)

② 技術の範囲 : 高校(COLEGIO)を卒業した程度の者に2年間淡水養殖(主にティラピア、コイ、マス)、寄生虫病気、コイ、ティラピア(について講義する他)の人工授精について、カウンターパートとともに研究を行なう。

③ 業務の形態 : 教室型 ― 実習あり

④ カウンターパート : 大卒の講師(INGENIERO) 文部省留学制度を利用し米国大で学んだこともあり日本びいき。

⑤ 現地にある機材 : 大まかではあるが揃っている。

⑥ 第三国人 : いない

⑦ 使用する言葉 : スペイン語

(詳細は別途資料参照)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 従来教育機関のほとんどがサンホセの位置する中央盆地に集中していたが、地方に教育の機会を与え地域開発に貢献すべく同大学(トゥリアルバ)がその一環として設立されたが教育スタッフ不足に直面している。淡水養殖は動物性タンパク摂取について牧畜一辺倒から脱皮すべく最近注目されている分野である。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(1) 4年制の大学卒業者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8月 28日

180 水産物加工

調査者氏名 新保昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Fishery Technologist (Fish Processing) (日本語) 水産物加工	(男) 人 (女) 1 人 (男女を問わず) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年9月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bicol University College of Fishries; 1981年より Bicol University Regional Institute of Fishery Technology 校名が変わる.

(日本語): ビコール大学水産学部

ロ. 隊員勤務先名称: 同上　　日本語名称 (同上)

所在地: Tabaco, Albay　　主要都市からの距離 (レガスピより 27 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: ビコール大学は State University の1つで所在地は違うが、水産学部、農学部、工学部、教育学部、看護学部等を有しており、水産学部はタバコにある。水産学部は漁具漁法科、増養殖科、水産物加工科及び水産化学科からなり生徒数は約500名

ニ. 設備概要: 教員数は13名である。他に高等部がある。今年入学者は学士を修得できるが来年度より Bicol University Regional Institute of Fishery Technology の名がかわり3年制となり学士は修得できなくなる。現在ある学科における設備は日本からなくらべれば問題にならないが一応はととのっているようである。写真を添付しておくので参考に見されたい。

(2) 隊員の業務内容: 現在 Philippine Council for Agriculture and Resources Research (PCARR) 及び World Bank の融資を受け Tiwi における地熱発電所(日本が資金援助)のスティームを利用した缶詰製造に関した研究所を建設する予定である。すでに青写真ができあがっており World Bank からも日本人をまじえた調査団が昨年来ており建設はまぢかのようである。本学部内にも新しい研究所ができあがり(1980年8月)、現在は機材を待っている段かいである。すべて PCARR 及び World Bank の融資である。(実験室)

① 隊員の業務上の地位: 水産学部 研究員 (Resencher): 英語ができれば講義をもつ可能性有り

② 技術の範囲: 水産物加工科の先生の内日本へ研修にいったことのある人もいるので加工全般及び化学に関するかなりの知識を必要とする。といっても大学を卒業しておれば十分である。

③ 業務の形態: Resencher として教師といっしょに仕事をし必要に応じていつでも学生を活用できる。一言: 学生及び教師はすべて女性である

④ 対象産及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 5人の教師がおり彼らは高等部も受けもっており学歴は学士で修士は1人もいない すべて好感のもてる人柄であり Bullecer 女史は日本へ行ったことがあるので仕事はやりやすそうである。尚 Bullecer 女史の弟君は現在高知大学修士課程で勉勉している。

⑤ 利用できる機材: 日本の研究室に有る用な機材はないが local 的なものは有りすべて使用できる。⑥ 現場における第3国人及び日本専門家: イギリスのボランティアー1人 (増養殖科)男、アメリカ!ピースコー1人 (さだかでない)男、JOCV1人 (増養殖科)男

⑦ 使用する言語: 英語、ビコール語、タガログ語、英語が主である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請 ~~[illegible]~~ 日本の水産物加工に関するすぐれた技術を修得し フィリピン水産物加工の発展に寄与する。くわしい詳細は英文を読んでいただきたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学卒業以上　② 水産物加工科、食品加工科を卒業した人　③ 缶詰製造に関してかなりの知識を有する人　④ 活発な人、スポーツ好きな人、おもしろい人　⑤ 大学なので修士課程を卒業した人なら申し分がない。　①～④までは絶対条件として 24～28才までの人であればよい 卒業してすぐの人でも良い。 とにかく陽気な人がよい

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 ~~54~~ 55 年 3 月 31 日

180 水産物加工

調査者氏名 斉藤正史 (伊藤)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語) Marine Products Processor (日本語) 水産物加工	(男) 1 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 56 年 2 月 受入期限56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Economic Dep. Fisheries Dev.

(日本語): 経済省 水産局

ロ. 隊員勤務先名称: Fisheries Dev. 日本語名称 (水産局)

所在地: APIA 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 水産加工品(魚肉ソーセージ、サツマ揚げ、水産缶詰)の試験的製造。

ニ. 設備概要: 日本政府の無償援助及びJ.O.C.V事務局から擂潰機、採肉機、レトルト、スタハー、リンガーなどの機材が送られ設置済み。

(2) 隊員の業務内容:

①隊員の業務上の地位: 水産物加工の責任者として直接、水産局長の指示を受ける。②技術の範囲: 水産物加工全般にわたる。③業務の形態: 将来的には5~6名のサモア人に水産物加工の全般について教え、一通りの製造ができるように指導する。④対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令: 未定 ⑤現地で利用できる機材: 擂潰機、採肉機、レトルト、リンガー、スタハーなど一通り揃っている。⑥職場に於る外国人及び日米専門家の配置状況: なし ⑦使用する言語: 英語

1980年3月31日現在、未だFish Processing Shopの建設が完了せず製造実施に致らない状態である。残すところあとわずかの器具の取り付けだけなので近日中には作業にかかれるものと思う。予定としては魚肉ソーセージ及びサツマ揚げの真空パックを主体に製造する。缶詰類は既に外国製の安価な品が多量に市場に出ており、採算面で折り合わないと思われる。従ってもし缶詰製造を進めるとしたら外国製品より安価でなおかつ味の良い物又は内容物の特殊な製品の検討が必要である。将来的には製造作業の全般をサモア人労働者に任せ、隊員は工程上のチェック、完成製品のチェック及び衛生面の管理を行うようにする。製造が軌道に乗った段階で流通、販路の整備と消費者に対する水産加工品についての知識の普及が必要になると思われる。さらにこれらの作業と平行してサモア人の嗜好の調査をし、それに合った新しい製品を開発することも考えられる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

サモア人は日本人と同様に非常に魚貝類を好んで食べる人々で、かつオ、マグロはもちろんのこと、タコ、ウニ、ナマコなどほとんどあらゆる海産物を食用としている。半面、各家庭においては漁獲物を長期に保存する方法を持たずまた料理法も限られている。国内全般としては需要供給のバランスがとれていない。そこで水産物加工によって漁獲物の有効利用及び需給の安定を計る。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大卒(水産物加工関係の学科専攻者であること。)経験1年以上有れば望ましい。干物などの比較的原始的な製品の製造経験があれば、なお良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55年 9月 30日

19001 農林統計

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Data Processing Officer (日本語) 統計	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources

(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: K.C.A.D.D. 日本語名称 (カロンガ・ディストリクト農業開発課)

所在地: カロンガ (Evaluation Section) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 小規模農家へのクレジットの供与、肥料、改良種の提供、新技術の導入を目的とするNational Rural Development Programme の1プロジェクト。1972年に始まる。
K.C.A.D.D. の予算(1980年)は約1億6千万円、Evaluation Section は約1千万円。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

・業務内容: 隊員の配属先となる Evaluation Section では、農家の家族構成などの調査、農地、作柄の調査等を行なっているが、隊員の業務は、これらの調査のデータ処理、及び小規模調査の企画、実施、集計等。
調査の集計はブランタイアにある Data Processing Unit のコンピュータ(英国ICL社製)で処理する。

・Evaluation Section の人員構成
Evaluation Officer 1 Data Processing Officer 1 (隊員)
Field Officer 2. Field Assistant 2. Enumerator 計数者 18
Driver 2. Labour 10.

・使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

柴田春好隊員の交代

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学卒
2. 実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

19002 水産統計

記入昭和 55 年 8 月 15 日

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ソロモン諸島	(現地公用語) FISHERIES STATISTICS (日本語) 漁業統計	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1 人	訓練開始 56 年 4 月 派遣予定 56 年 8 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): FISHERIES DIVISION, MINISTRY of NATURAL RESOURCES

(日本語): 天然資源省、水産局

ロ. 隊員勤務先名称: FISHERIES DIVISION　日本語名称 (水産局)

所在地: HONIARA (P.O.BOXなし設計名)　主要都市からの距離 (市内より 3 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

水産局の事務所で勤務

ニ. 設備概要: 整っている。

(2) 隊員の業務内容:

水産局で漁業統計を担当している MISS CHRISTINE MANSFIELD と共同で業務に当たる

① 隊員の業務上の地位: 水産局事務官補佐

② 技術の範囲: 商業ベースの域内一本釣りと沖合漁業、外国漁船、海産物の輸出等の統計資料蒐集、作成、点検、業務の補佐、及び統計課の順次訓練に当たる。

③ 業務の形態: 7:30 ~ 4:00 事務所勤務

④ 対象者カウンターパート: 事務官 1人 現地人 9名

⑤ 現地で利用出来る機材: 整っている

⑥ 現場における第3国人: イギリス人

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

水産局の統計部内の人材が不足により要請されたもの
統計部内のオフィサーは英人女性であり、かつ常時事務所勤務となるので女性が望ましいが、得られない場合は男性でも可

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 大学で生物学専攻 統計学を学んでいること
2. コンピューターの経験が望ましい
③ 英語に堪能であること。